

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-7

<24週> 咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ - 定点当たり報告数はいずれも前週に比べて増加した / その他最新動向  
<5月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症  
P.8

<咽頭結膜熱>  
定点当たり報告数は例年より多い状態で推移しており、第24週でも更に増加した。報告された約8割が5歳以下の小児となっている。



病原体情報  
P.9

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス



速報  
P.10-11

重症急性呼吸器症候群(SARS)の「可能性例」国別累積報告数 / エコーウイルス9型の流行 - 宮崎県



海外感染症情報  
P.12-13

イラクでのコレラ流行 - 更新3 / ハイチでの腸チフス流行 / 重症急性呼吸器症候群(SARS) - 更新情報



感染症の話  
P.14-17

<コクシジオイデス症>  
半乾燥地帯の限られた地域の土壤中に生息するコクシジオイデス・イミチスを吸入することにより、肺に感染を起こす真菌症である



読者のコーナー  
P.18



グラフ総覧(24週)  
P.19-25



グラフ総覧(5月)  
P.26-30



5月のデータ  
P.31-34



24週のデータ  
P.35-43



# 発生動向総覧

第24週コメント 6月19日集計分

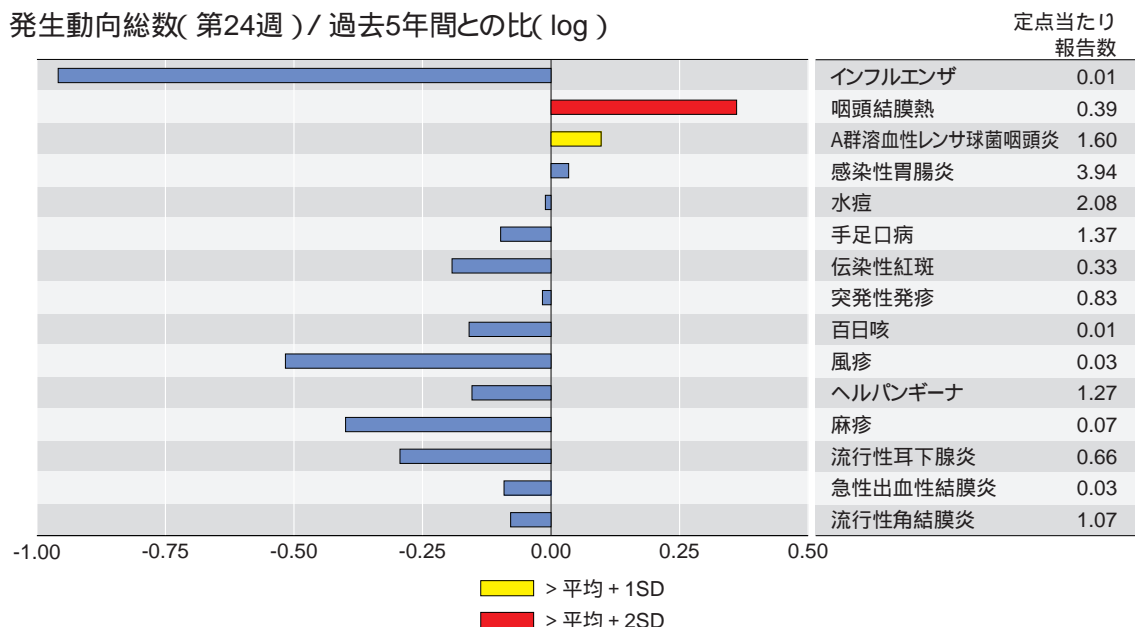
## 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
  - 2類感染症: 細菌性赤痢7例(推定感染地域: 国内2例、インド3例、ベトナム2例)
  - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症58例(うち有症者32例): 最多報告は秋田県、愛知県(ともに7例)
  - 4類感染症: アメーバ赤痢7例(推定感染地域: 国内5例、タイ1例、中国1例)、オウム病1例(推定感染源: インコ)、Q熱1例(推定感染源: ネコ)、クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性)、ジアルジア症1例(推定感染地域: インドネシア)、ツツガムシ病5例、デング熱1例(推定感染地域: ニューカレドニア)、日本紅斑熱1例(徳島県)、梅毒9例(早期顕症5例、無症候4例)、破傷風1例(66歳)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(菌検出検体: 尿、遺伝子型未定)、レジオネラ症2例
  - 急性ウイルス性肝炎3例 B型3例(推定感染経路: 性的接触1例、不明2例)
  - 後天性免疫不全症候群11例( AIDS 6例、無症候5例)
    - 推定感染経路: 性的接触8例(異性間3例、同性間5例)、不明3例
    - 推定感染地域: 国内5例、エジプト1例、その他国外1例、不明4例
- (補)他にツツガムシ病1例の報告があったが、報告基準を満たさず削除予定

## 定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、過去10年間と比較して本年16週以降最高の値で推移している。都道府県別では大分県(2.4)、福井県(1.5)、富山県(1.3)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では宮崎県(4.0)、富山県(3.7)、山口県(3.0)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微減して0.24で、依然として過去4年間の同時期の平均と比較して約2倍となっている。都道府県別では山形県(1.8)、岡山県(1.2)、岩手県(0.9)が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では広島県(5.5)、山口県(5.2)、宮崎県(4.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は微増し、都道府県別では北海道(1.3)、長野県(1.0)が多い。百日咳の定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では依然として栃木県(0.2)が多い。風疹の定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では依然として岡山県(0.4)が多いが、16週をピークに減少してきている。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、都道府県別では山口県(5.6)、鳥取県(3.6)、大阪府(3.4)が多い。麻疹(成人麻疹を除く)の定点当たり報告数は微減し、都道府県別では栃木県(0.5)、福島県(0.4)、宮城県(0.3)、宮崎県(0.3)が多い。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は微減し1.07で、都道府県別では愛媛県(2.9)、栃木県(2.3)、高知県(2.3)が多い。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は前週と同値の0.07で、都道府県別では和歌山県(0.9)、福井県(0.7)が多い。成人麻疹の定点当たり報告数は微増して0.04で、都道府県別では福島県(0.29)、宮城県(0.25)が多い。

発生動向総数(第24週)/過去5年間との比(log)

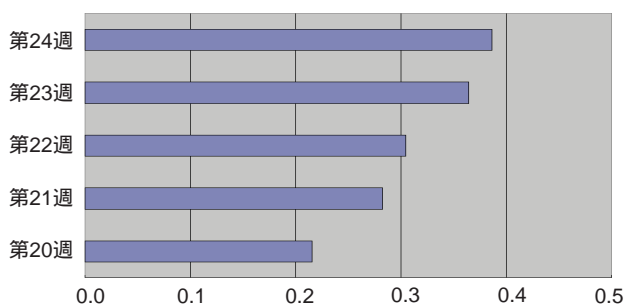


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

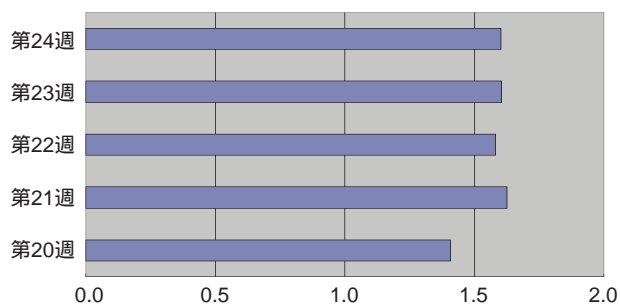
## 最近の注目疾患－5週間の動き

手足口病、ヘルパンギーナの定点当たり報告数は前週に比べて増加している。咽頭結膜熱、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べて微増している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は前週に比べて微減している。

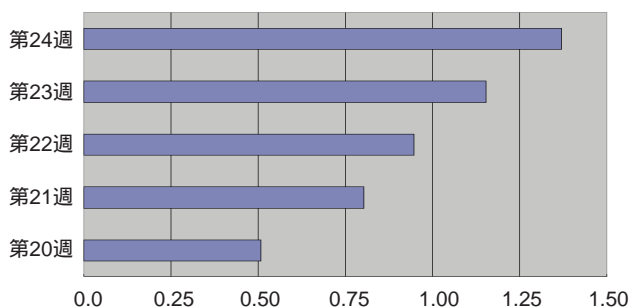
咽頭結膜熱



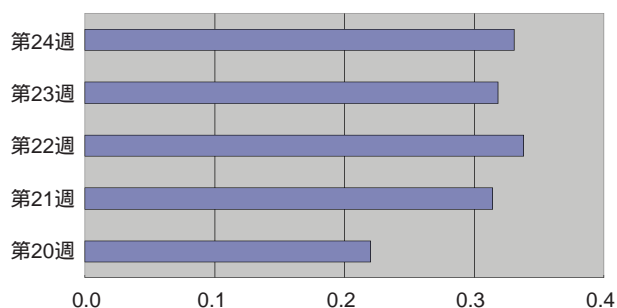
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



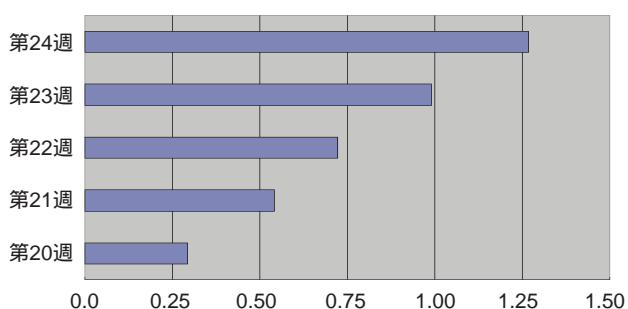
手足口病



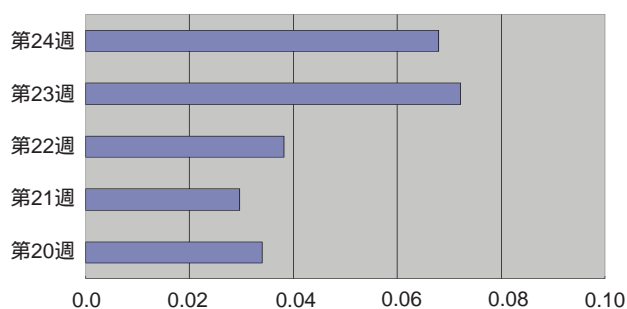
伝染性紅斑



ヘルパンギーナ



無菌性髄膜炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

## 5月コメント

### 性感染症について(6月11日集計分)

2003年5月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が4.00(男1.76、女2.24)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.92(男0.39、女0.54)、尖形コンジロームが0.59(男0.32、女0.27)、淋菌感染症が1.91(男1.50、女0.41)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べ、いずれも上昇している(26～29ページグラフ総覧参照)。過去4年間の同時期と比較すると、女性において高く、性器ヘルペスウイルス感染症は平均+2標準偏差(SD)、その他の3疾患は平均+1SDを超えている(図2)。

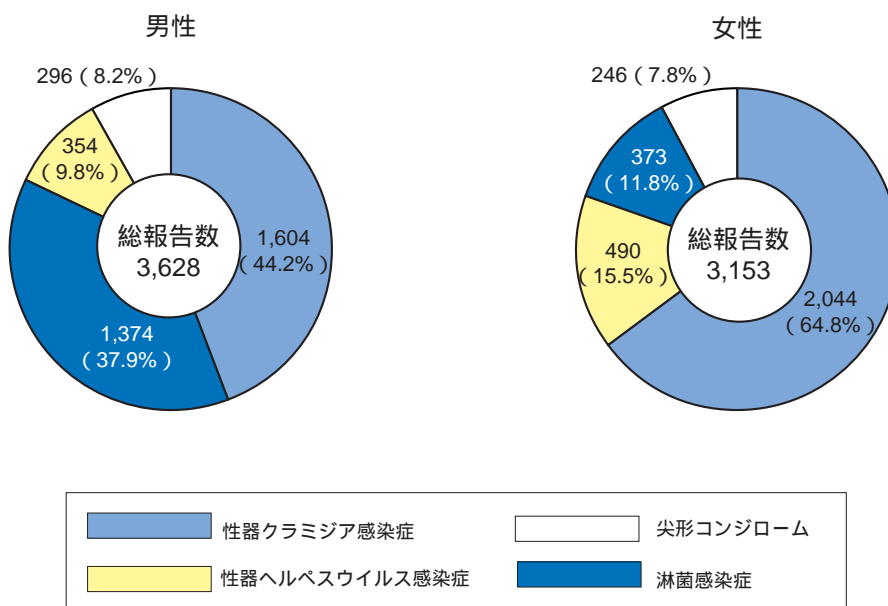
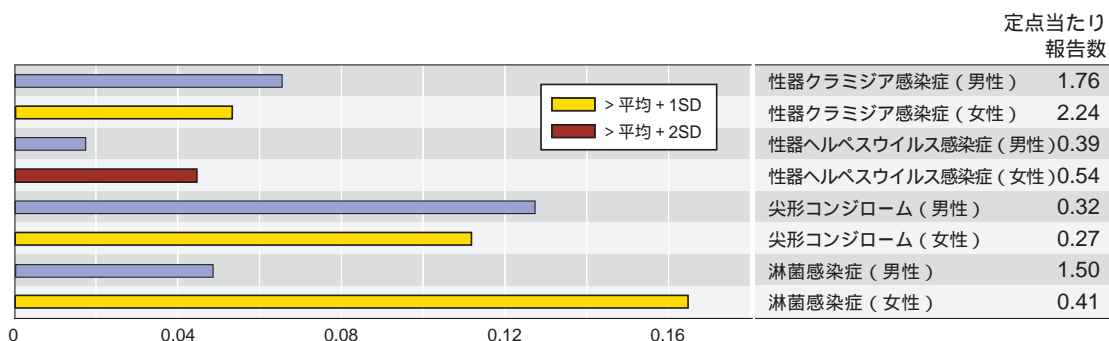


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(5月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(5月)過去4年間との比(log)



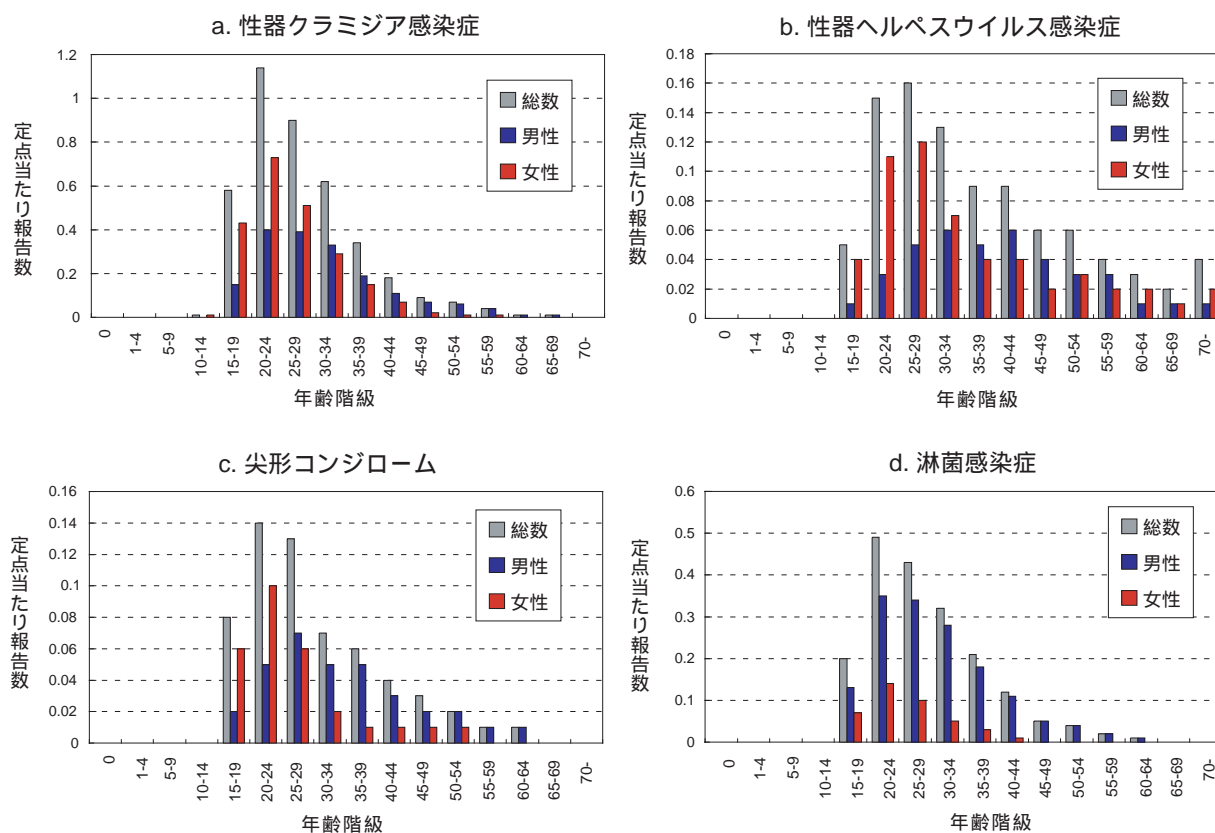
当該月と過去4年間の平均(過去4年間の前月、当該月、後月の合計12カ月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると(図3) いずれの疾患でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少なくない。淋菌感染症ではいずれの年齢層でも男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数が多い傾向が認められた。(5月の性感染症定点総数は913)

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。男性の性器ヘルペスウイルス感染症を除き、いずれも上昇傾向がみられる。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報)4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級・性別グラフ(5月)







## 薬剤耐性菌感染症について( 6月11日集計分 )

5月の基幹定点総数 : 466 .

5月の定点当たり報告数 : メチシリン耐性黄色ブドウ球菌( MRSA )感染症 3.72 ( 前月 : 3.77、前年同月 : 3.53 )

ペニシリン耐性肺炎球菌( PRSP )感染症 1.43 ( 前月 : 1.17、前年同月 : 1.31 )

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.16( 前月 : 0.11、前年同月 : 0.14 )

年齢階級別 : MRSA感染症 ..... 65歳以上が全体の70%( 70歳以上が61% )を占めている。

PRSP感染症 ..... 5歳未満の小児が最も多く、全体の62.5%を占めている。  
65歳以上も多く、全体の19.5%を占めている。

薬剤耐性緑膿菌感染症... 65歳以上が全体の51%を占めている。

性別 : ( 女性を1として算出した男女比 ) : MRSA感染症 ..... 1.8 : 1

PRSP感染症 ..... 1.4 : 1

薬剤耐性緑膿菌感染症... 2.3 : 1

都道府県別 : MRSA感染症 ..... 富山県( 7.80 )、山口県( 7.67 )からの報告が多く、累積でも山口県( 38.25 )、富山県( 37.20 )からの報告が多い。

PRSP感染症 ..... 千葉県( 11.44 )、富山県( 6.80 )からの報告が多く、累積でも千葉県( 37.67 )、富山県( 26.40 )からの報告が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症... 広島県( 1.00 )、岡山県( 0.60 )からの報告が多く、累積では広島県( 2.33 )、岩手県( 1.95 )からの報告が多い。

## 結核サーベイランス月報( 6月20日集計分 )

5月の新登録患者数は2,773人( 男性1,823人、女性950人 )で、このうち活動性肺結核患者は2,240( うち喀痰塗抹陽性者は1,032人 )であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都( 351人 )、大阪市( 178人 )、大阪府( 大阪市を除く ) 177人、千葉県( 千葉市を除く ) 124人、埼玉県( さいたま市を除く ) 118人 )が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数\*は400人、非定型抗酸菌陽性者数は253人であった。

\*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告( <http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm> )をご覧ください。



# 注目すべき感染症

## 咽頭結膜熱

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は例年より多い状態で推移している。第24週でも更に増加しており、過去10年間のうちでも最大となり、昨年のピーク値をすでに超えている。以前から多かった大分県だけでなく、福井県、富山県、三重県などでも増加し、定点当たり報告数が1.0を超えた。報告された約8割が5歳以下の小児である。

本年、現在までに咽頭結膜熱から分離されている病原体は、アデノウイルス3型、あるいは2型が主である。また、数は少ないものの7型も分離されている。

本疾患はプールでの感染も見られることから、プール熱とも呼ばれる。例年、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークを形成する夏季の疾患である。

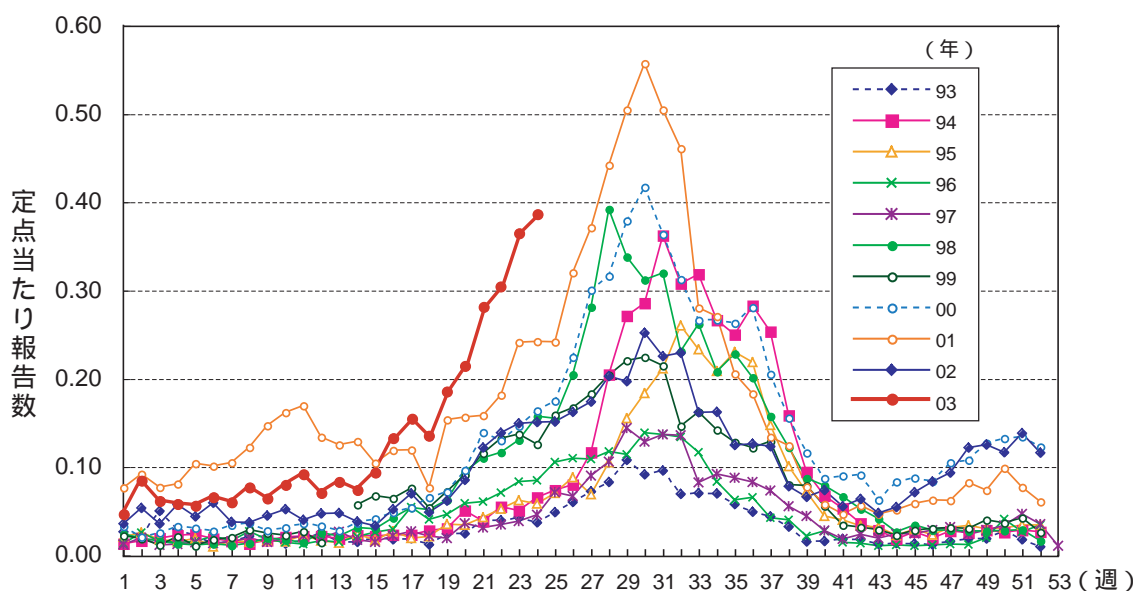
感染経路は通常飛沫感染であるが、プールでは結膜からの感染や経口的な感染も考えられている。症状としては、5～7日の潜伏期の後に発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭痛、結膜充血、眼痛、羞明、流涙、眼脂などの症状があり、それらが3～5日間程度持続する。基本的には良性のウイルス性疾患であり、脱水を防ぐなどの保存的な治療が中心となる。

感染予防のためには、患者のタオルなどを共用しないことなどが重要である。発症してから、眼・呼吸器系では7～14日間、便からは30日間ウイルスが検出されることもある。

1994年頃からアデノウイルス7型による咽頭結膜熱の流行がみられているが、同ウイルスによる肺炎などの重症例が報告され、問題となった。近年の報告数は多くはないが、依然として検出がみられているので、引き続き注意が必要である。

本疾患は今後夏にかけて報告数が増加してくると考えられるので、流行に注意することが必要である。また、プールを介しての流行もあるので、水泳前後のシャワーやプールの水の消毒なども大切である。

図.過去10年間の咽頭結膜熱の週別定点当たり報告数







## 病原体情報

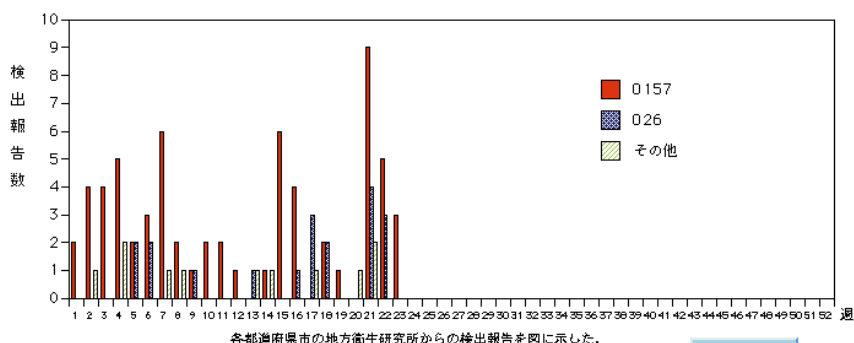
\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

(2003年6月20日現在報告分)

### ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2003年

検出総数は95件で、うちO157が65件、O26が19件、その他の血清型が11件報告されている。最近では、O157が第22週に群馬県2件(いずれもVT1&2)、佐賀県2件(いずれもVT2)、京都市1件(VT1&2)、第23週に佐賀県2件(いずれもVT2)、京都市1件(VT1&2)、O26が徳島県3件(すべてVT1)である。いずれも散发事例、または家族内発生事例からの検出報告である。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2003年 (病原微生物検出情報: 2003年6月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を週に示した。

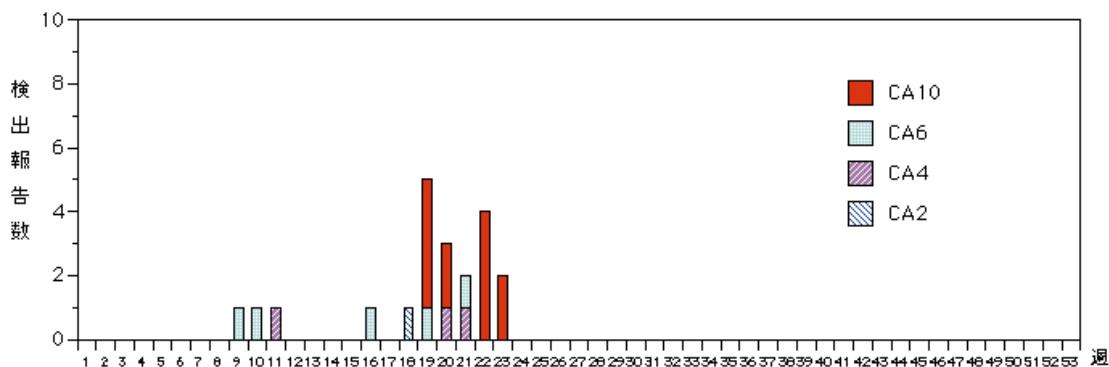


### ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2003年

分離されるウイルスの6～7割はA群コクサッキーウイルス(CA)であり、昨年(2002年)はCA4、CA6が、2001年はCA4、CA2、CA8が多く報告されている( <http://idsc.nih.go.jp/prompt/graph/etbj.gif> 参照)。2003年は、CA10が第19～23週にかけて計12件(奈良県7、大阪府5)報告されており、次いでCA6が5件(京都市3、愛知県2)、CA4が3件(秋田県2、島根県1)、CA2が1件(大阪市)報告されている。この他に、エコーウイルス(E)β0型が第21、22週に大阪府からそれぞれ1件ずつ報告されている。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離報告数、2003年

(病原微生物検出情報: 2003年6月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を週に示した。



### 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2003年

ムンプスウイルスが8件(広島県3、島根県2、千葉市、愛知県、大阪府各1)、E30が6件(大阪府4、京都市、奈良県各1)、E6が5件(新潟県3、大阪府2)、CB2が5件(神戸市、岡山県、広島市、北九州市、佐賀県各1)報告されている。



## 重症急性呼吸器症候群(SARS)の「可能性例」国別累積報告数

(平成14年11月1日<sup>1</sup>～平成15年6月26日)

国名	累積症例数 <sup>2</sup>	WHOによる前回の更新以降の新規症例数 <sup>2</sup>	死亡者数	回復者数 <sup>3</sup>	「可能性例」の最終報告日	現在の累積症例数報告日
オーストラリア	5	0	0	5	5月12日	6月13日
ブラジル	3	0	0	2	6月9日	6月9日
カナダ <sup>4</sup>	251	1	37	190	6月25日	6月25日
中国 <sup>5</sup>	5327	0	348	4921	6月25日	6月26日
香港(中国特別行政区) <sup>6</sup>	1755	0	296	1419	6月11日	6月26日
マカオ(中国特別行政区)	1	0	0	1	5月21日	6月23日
台湾(中国)	682	0	84	491	6月19日	6月26日
コロンビア	1	0	0	1	5月5日	5月5日
フィンランド	1	0	0	1	5月7日	5月20日
フランス	7	0	0	6	5月9日	5月22日
ドイツ	10	0	0	9	6月4日	6月23日
インド	3	0	0	3	5月13日	5月14日
インドネシア	2	0	0	2	4月23日	6月19日
イタリア	9	0	0	9	4月29日	6月25日
日本	1	0	0	0	6月25日	6月26日
クウェート	1	0	0	1	4月9日	4月20日
マレーシア	5	0	2	3	5月20日	6月23日
モンゴル	9	0	0	9	5月6日	6月2日
ニュージーランド	1	0	0	1	4月30日	6月25日
フィリピン	14	0	2	12	5月15日	6月25日
アイルランド	1	0	0	1	3月21日	6月12日
韓国	3	0	0	3	5月14日	6月23日
ルーマニア	1	0	0	1	3月27日	4月22日
ロシア	1	0	0	0	5月31日	5月31日
シンガポール	206	0	32	170	5月18日	6月25日
南アフリカ	1	0	1	0	4月9日	5月3日
スペイン	1	0	0	1	4月2日	6月5日
スウェーデン	3	0	0	3	4月18日	5月13日
スイス	1	0	0	1	3月17日	5月16日
タイ	9	0	2	7	6月7日	6月25日
英国	4	0	0	4	4月29日	6月25日
米国	74	0	0	36	6月23日	6月25日
ベトナム	63	0	5	58	4月14日	6月7日
<b>計</b>	<b>8,456</b>	<b>1</b>	<b>809</b>	<b>7,371</b>		

[注]・累積症例数は死亡数を含む

・重症急性呼吸器症候群(SARS)は除外診断であるので、症例の報告状況は時々刻々と変わりうる。従って、以前に報告された症例でも、その後の調査と経過観察により削除される可能性がある。

- 1 現在はSARSと確認された中国の異型肺炎の症例を含むために、サーベイランス期間の開始日を2002年11月1日に変更した。
- 2 「累積症例数」の減少と、「前回と今回のWHOへの新規報告症例数」のあいだの矛盾は、(同期間に別な病因が判明し)取り下げられた症例数があることによって生じている。
- 3 各国の公衆衛生当局が、「退院」あるいは「回復」したと報告した症例を含む。
- 4 カナダにおける直近のSARSの「可能性例」の発生は6月12日で、最後の「可能性例」の隔離も同日に行われた。
- 5 中国における直近のSARSの「可能性例」の発生は6月3日で、最後の「可能性例」の隔離も同日に行われた。
- 6 香港における死亡例はベトナムから医療移送された1例を含む。

(WHOホームページより)

## エコーウイルス9型の流行 - 宮崎県

宮崎県では、感染症発生動向調査事業において2003年第1～23週までで、発疹および無菌性髄膜炎に関する検査依頼はそれぞれ103検体および6検体であり、そのうち27検体からエコーウイルス9型を検出している。27検体のうち23検体は咽頭ぬぐい液、3検体は鼻汁、1検体は髄液であった。ウイルス分離を、CaCo-2、Vero、HeLaの3種類の細胞を用いて行ったところ、すべてCaCo-2細胞でのみ検出された。同定は市販の抗血清を用いた中和反応で行った。27例の患者の主な症状あるいは診断は、発熱、発疹が25例、無菌性髄膜炎が1例、口内炎が1例であった。患者の年齢は1歳未満( 4例 )、1歳( 12例 )、2歳( 4例 )、3歳( 4例 )、5歳( 1例 )で、このうち5歳の例は無菌性髄膜炎を呈し、5月9日( 4病日 )に採取された髄液からエコーウイルス9型が分離された。

宮崎県内の感染症発生動向調査事業におけるウイルス検出統計では、1990年以降のエコーウイルス9型の流行年は、1994年( 分離株数65株 )、1997年( 同71株 )、2000年( 同114株 )と3年ごとで、この流行サイクルから考えると今年は流行する可能性が高い。また、2003年第1～23週までの宮崎県内の無菌性髄膜炎の患者報告数は7人で、年齢は4～7歳4人、15～19歳1人、50～59歳2人であった。今後の無菌性髄膜炎の患者発生状況についても注意したい。

宮崎県衛生環境研究所

岩切 章 元明秀成 山本正悟 岩城詩子 齋藤信弘

三宅小児科医院

三宅和昭

( IASR2003年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### イラクでのコレラ流行 - 更新3

WHO/CSR 2003年6月19日

4月28日～6月4日の間に、累計で73名の検査によるコレラ確定患者がイラクから報告された。68名はBasra地域で、4名はMissan地域で、1名はMuthana地域であった。死亡者は報告されていない。

5月17日～6月4日の間に、Basraの主要4病院での連日の下痢患者のサーベイランスシステムにより、累計で1,549名の急性水様下痢症が報告された。これらの患者の25.6%は5歳以上であった。水の供給状況が悪いことが最大の原因である。安全な飲料水の入手を容易にし、水系感染の拡大を防ぐための対策がUNICEFと地方当局により行われた。

### ハイチでの腸チフス流行

WHO/CSR 2003年6月17日

5月30日現在、200名の腸チフス患者と40名の死亡者の発生が、ハイチの保健省とPAHOから報告された。このうち3名が検査により腸チフスと確認された。

流行は乾期の4月に始まり、ドミニカ共和国との国境沿いのGrand Bois地域の僻地の村で流行した。これらの村には医療施設がなく、安全な水を手に入れることも困難で、この地域の全ての水源で最大レベルの大腸菌汚染が見られた。ほとんどの死亡者は医療施設を受診していなかった。

5月に、PAHOと保健省は流行調査・対策チームを派遣した。その活動は、水源のサンプリング、移動診療所の設置、患者の検査、保健教育、地域レベルでの対策の組織化などである。

### 重症急性呼吸器症候群( SARS ) - 更新情報

WHO/CSR 2003年6月17日 - 更新82

台湾

WHOは本日、台湾を不要不急の渡航延期勧告地域の一覧から削除した。この変更は、患者発見、感染防護対策、接触者追跡調査や経過観察などが著しく改善し、毎日の新規症例数の急速な減少に結びついたことに引き続いて出された。

渡航延期勧告の解除は幾つかの要素を考慮に入れ決定される。これらの要件には現在のSARS症例数、一日あたりの新規の報告症例数、地域内の感染伝播の様式、もはや輸出例が無いことを示す証拠などが含まれている。新規症例のスクリーニングや接触者の追跡調査と経過観察を含めた、サーベイランス方法の妥当性も考慮される。これらの要素は総合的に、地域の住民はもちろん旅行者においても、医療現場のような限定された環境以外における感染のリスクを判断するのに役立つ。

台湾は記録上3番目に大きな流行を経験したが、初期には全員ヒト-ヒト感染の連鎖で明確に関連づけられた2～3例の輸入症例しかなかった。院内での感染防護対策の失敗に伴い、流行は劇的に規模を拡大し、5月の中旬には1日に70例も報告されるようになった。この様に多数の新規症例が毎日報告された一因としては、調査中であった多数の症例の未報告例があったためでもある。

WHOは引き続き、中国の北京への旅行を計画している者に対し、不要不急の渡航延期を勧告している。これ以外に、旅行に関連した勧告は現在出していない。

WHO/CSR 2003年6月20日 - 更新85

診断目的のWHOによる症例定義

今週British Medical Journalに発表された論文は、WHOによるSARS「疑い例」と「可能性例」の症例定義が、患者が最も感染力を持つとされる最初の段階にある感染症例を検出するために適切であるかどうかについて疑問を提起した。

WHOの症例定義は「広く網をかける」手法を取り、SARSウイルスに曝露した可能性のある人すべてを特定し、迅速に隔離することを支援することを目的としている。WHOは引き続き、疑わしい症例は直ちに隔離し、他の診断がつか、あるいは他の病原体が原因と分かるまで継続することを提言する。

この初期の緊急対応時に流行を封じ込めるために、現在の症例定義は有効であったが、長期のサーベイランスのためには、より明瞭な症例定義が必要であることをWHOは十分に承知している。

治療現場で利用できる信頼性のある診断法が開発されるまで、症状の検討とSARS患者との接触歴の可能性に基づく症例定義が、感染した可能性がある人を発見し、さらに感染が広がる機会を減らす唯一の方法である。したがってWHOは、その他の症状を追加することで症例定義をより感度の高いものにできるかもしれないという、BMJに発表された研究を歓迎する。しかしながら、これは、ひとつの病院を受診した患者を対象とした、ひとつの研究である。さらに、下痢のような症状を定義に加えることで、その症例定義はより多くの偽陽性例を取り上げるリスクを負うことになる。

クアラルンプールでのSARSに関する世界会議の際に、WHOは特により適切な症例定義を決定するワーキンググループを設立した。このグループは、主な流行場所からの情報を検討する予定である。

WHO感染症局長は「WHOは、診断のための検査法の改善が最優先事項と考えている。次の(北半球での)インフルエンザのシーズンには、非常の多くの患者がSARSと間違われやすい症状を呈することになる。医療機関を過重負荷に陥らせないためには、適切な検査に加え、より特異的で感度の高い症例定義が絶対必要である。我々はそれを、入手可能な最高の事実に基づいた、国際的協力によって策定する予定である」と述べた。

少なくとも1年間はSARSのサーベイランスを継続する必要があると推測している。WHOのサーベイランスと報告に関する勧告も、緊急対応から継続的警戒へと移行するこの第2段階のために改訂が行われている。

WHO/CSR 2003年6月23日 - 更新86

香港

香港が地域内感染伝播確認地域から除外された。

WHOは本日、香港をSARSの地域内感染伝播確認地域から除外した。最後の患者が6月2日に隔離されて以来、潜伏期間の2倍の20日が経過した。

WHO感染症局長は「これは非常にすばらしい成果だ。香港は人口が過密で、また中国との人の出入りが多く、最も征圧することが難しい地域である。今回の成功は、全世界でSARSの脅威に対し、より安全になったと感ずることができることを意味する。」と述べた。





## 感染症の話

### コクシジオイデス症

人や物資の世界的規模の交流により、今まで我々に無縁と思われていた病原性の強い微生物による「輸入感染症」の危険性が高まっている。微生物感染の中で皮膚糸状菌症以外の真菌症はヒトからヒト、動物からヒトへの直接感染は否定されており、この「輸入感染症」の対象から外されていた。しかし、真菌症でもコクシジオイデス症(coccidioidomycosis)の病原性はペストに相当し、極めて強い。本症は4類感染症全数把握疾患に指定された唯一の真菌症である。

#### 疫学

コクシジオイデス症は米国西南部(カリフォルニア、アリゾナ、テキサス、ネバダ、ユタの諸州)、メキシコ西部、アルゼンチンのパンパ地域、ベネズエラのファルコン州の半乾燥地域の風土病で、溪谷熱(valley fever)、砂漠リウマチ(desert rheumatism)あるいは砂漠熱(desert fever)とも呼ばれている。これら半乾燥地帯の限られた地域の土壤中に原因真菌である*Coccidioides immitis* Rixford et Glichrist 1896(コクシジオイデス・イミチス)が生息し、その分節型分生子は強風や土木工事などで空中に舞い上がり、これら分生子を吸入することにより肺に感染を起こす。毎年多数発生する患者の約0.5%は全身感染に波及し、その半数が致死的となる。*C. immitis*の病原性はペスト菌に相当する。本症が日本で発症した場合、菌の同定には特別な注意が必要である。本菌は菌糸状発育しているシャーレの蓋を不用意に開けただけで、分生子が空中に舞い上がり室内を汚染する。患者と直接接触する医師や看護師より、患者の検体から培養された真菌を取り扱う検査技師や研究者に二次感染の危険がある。米国では過去に200名近い研究者および臨床検査技師が感染を経験しており、死亡例も少なくない。

本邦では2002年9月までに31例が報告されており、カリフォルニア州やアリゾナ州への海外渡航歴を有するものが大部分ではあるが、2例は渡航歴のない綿花を扱う工場の従業員で、輸入された綿花に付着した原因菌を吸入したことにより感染したと考えられる。

#### 病原体

##### 1. 原因菌

*C. immitis*は、取り扱い上最も危険な真菌である。本菌の有性世代は不明である。普通の培地上では菌糸形を、生体内及び特殊な培養法で培養すると内生孢子(endospore)で満たされた球状体(spherule)を形成する。集落の形態は初め無毛で灰白色、次第に白色綿毛状となる。しかしながら淡褐色を呈する菌株もかなり多く、粉状になるものもある。発育は速く、27より37の方がよい。顕微鏡的には、菌糸は培養するにつれ菌糸内に多数の隔壁ができ、細胞質が消失した解離細胞(disjunctor cell)と分節型分生子が交互に連なる状態になる。分節型分生子は矩形から樽型(2.5～3×4～6μm)である。自然界では条件が違くと分節型分生子が発芽し、菌糸となる。

##### 2. 病態生理

吸入により生体内に入った*C. immitis*の分節型分生子は球状に腫大し、球状体となる。初期の球状体は内外の2層に分かれる。外層は細胞質より成り、内層は多糖体様物質で満たされているが、発育するにつれ消失する。球状体の腫大とともに細胞質膜、次いで細胞壁が中心に向かって折れ込むように発達し、以後球状体の発達とともに連続的に分葉し、細胞質を無数の小室に分けていく。続いて個々の小室内にいくつかの内生孢子が現れ、内生孢子的成熟とともに周囲



の組織は融解し、最後には無数の内生孢子( 2 ~ 5 μ m )が充満した球状体( 40 ~ 2000 μ m )が形成される。やがて球体内の壁の一部が破れ、内生孢子は組織中に放出される( 写真1 )。これら内生孢子は腫大して球状体となり、同じサイクルを繰り返す。なお、感染した分節型分生子が成熟した球状体となり、内生孢子が組織中に放出されるまでの期間は約5日である。

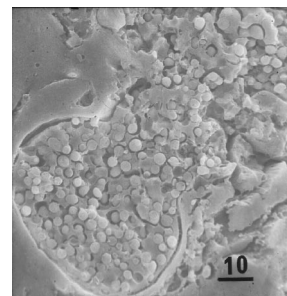


写真1. マウス肝臓における *C.immitis* : 球状体から放出された内生孢子

### 臨床症状

#### 1. 原発性肺コクシジオイデス症 primary pulmonary coccidioidomycosis

ほとんど無症状であるが、約40%において、軽いカゼに似た症状を示す。汚染地域の住民のほとんどは短期間に自然治癒する。特徴的なこととして、約10%の患者( 女性に多い )の下腿に紅斑を伴う結節( 結節性紅斑erythema nodosum )が見られる。

#### 2. 原発性皮膚コクシジオイデス症 primary cutaneous coccidioidomycosis

極く稀に皮膚に初発病巣が生じる。刺傷あるいは外傷により感染し、発症する。潰瘍を形成し、花キャベツ状の腫瘤となる。

#### 3. 良性残留性コクシジオイデス症 benign residual coccidioidomycosis

症状がみられた原発性コクシジオイデス症の2 ~ 8%の患者の肺に、結核に似た空洞が形成される。空洞壁は薄く囊腫状を呈し、液を貯留していることもある。炎症反応はほとんどない。病巣はそれ以上進行せず、感染の恐れもない。自覚症状はほとんどなく、X線撮影によってのみ見いだされる。別名コクシジオイドマ( コクシジオイデス腫 coccidioidoma )と呼ばれることもある。

#### 4. 播種性コクシジオイデス症 disseminated coccidioidomycosis

別名コクシジオイデス肉芽腫coccidioidal granuloma。進行性あるいは2次性コクシジオイデス症progressive or secondary coccidioidomycosis ともいわれている。肺の初感染病巣が進行し、血行性に全身に散布する。原発性肺コクシジオイデス症の患者の約0.5%に発生し、そのうち約半数が死の転帰をとる。免疫不全の患者に起こることが多い。皮膚、皮下組織、骨、関節、肝、腎、およびリンパ組織が侵される。なお、急性の場合、髄膜炎( coccidioidal meningitis )を併発することが多い。

### 病原診断

#### 1. *C. immitis* の分離同定

当然のことながら、本菌の分離同定作業は隔離された安全キャビネット内で行われなければならない。本菌の同定の決め手は( 1 )37 °Cにおける旺盛な発育、( 2 )培地上での分節型分生子の形成、( 3 )特殊培養あるいは動物実験による球状体の確認である。

*C. immitis* の旺盛な発育を観察するには、通常使用されている真菌および細菌用培地が用いられる。汚染菌を防ぐ目的で添加されるクロラムフェニコールやシクロヘキシミド( cycloheximid )によって発育は阻害されない。通常サブロー・ブドウ糖寒天培地が使用されている。慎重に菌を培地中央部に接種し、シャーレの蓋と本体をビニールテープで密封し、さらに透明プラスチック容器に入れて孵卵器に入れて観察する。37 °Cで7日後に直径40mm以上の集落となる。

分節型分生子は、1%の割合でブドウ糖を添加したブレインハートインフュージョン斜面寒天培

地に菌を接種し、37℃で培養すると10日前後で形成される。観察法は試験管を顕微鏡の鏡台に横たえ、管壁越しに行う。分節型分生子は僅かな空気動きでも飛散するので、斜面培地の蓋をとってはならない。通常真菌で用いられている乗せガラス培養法 (slide culture) は大変危険なので、行ってはならない。DNA抽出も斜面培地の栓より70%エタノールや10%ホルマリンなどの固定液を注射筒で注入し、完全に固定されるまで(1週間以上)注射筒はそのままにし、その後実験に用いる。

球状体の観察は、培地の調整および培養法(炭酸ガス培養、振盪培養装置)が煩雑であること、一般の施設での動物実験は許可されていないことなどから、特定の研究機関に依頼されることを推奨したい。なお、女性ホルモンは*C. immitis*の成長を促進するため、妊婦は本菌を扱ってはならない。

## 2. 病理組織学的診断

組織内で*C. immitis*は、内生胞子を内蔵した球状体、および球状体から放出された内生胞子、各種発達段階にある球状体として観察される。染色はPASおよびGMSを推奨する。病理学的特徴は肉芽腫性炎症と化膿性炎症の混じり合った像であるが、どちらが主になるかは病型および菌の寄生形態に左右される。肺の初感染染は主に肉芽腫炎症像を示すが、急性全身感染の場合は化膿性炎症像が強くなる。また、球状体の発育段階によっても組織反応は異なってくる。激しい限局した化膿性炎症像は、球状体から内生胞子が組織内に放出された時に起こり、これら内生胞子が成熟した球状体が変わっていくにつれ、病巣は肉芽腫性へと変わっていく。

## 3. 免疫学的診断

免疫反応用抗原としてコクシジオイジン(coccidioidin)およびスフェルリン(Spherulin)が開発されている。これらの抗原は遅延型皮膚反応の検出に用いられる。また、ベータ 1,3 グルカン( $\beta$ -1,3 glucan)を検出するキットもコクシジオイデス症に反応するといわれている。

一方、コクシジオイデス症における血清抗体も種々の方法で検出されている。沈降抗体は通常感染1週間から3週間の間に出現する。これは試験管内沈降試験、二重拡散法、あるいは免疫電気泳動法で検出可能である。補体結合反応も感染7日以降より陽性となり、病状の悪化とともにその抗体価は上昇し、病状の好転とともに低下していく。また、ラテックス凝集反応も行われ、この価は試験管内沈降反応の結果と良く一致する。

本症の血清学的診断法としては、補体結合反応と二重拡散法の併用が優れている。二重拡散法の代わりに免疫電気泳動法を用いても良い。なお、中枢神経系のコクシジオイデス症の場合、血清の代わりに脳脊髄液中の抗体価が測定されている。

## 4. PCRによる*C. immitis* 遺伝子の検出

2002年9月現在、2,716個の*C. immitis*の遺伝子がGenBankに登録されている。また、本菌を特異的に検出するプライマーも、28SリボソームRNA遺伝子や19kDa抗原遺伝子を使って報告されている。近年中には、血液、髄液、組織標本を用いた*C. immitis*の遺伝子検出が日常検査で行われるようになる。また、培養菌体を固定してDNAを検出し、遺伝子シーケンスにより同定することはすでに可能である。

### 治療・予防

播種性コクシジオイデス症の治療は困難である。現在イミダゾール系の抗真菌剤( ケトコナゾール、ミコナゾール、イトラコナゾールなど ) およびフルロ化ピリミジン化合物の一種である5 フルオロシトシン( 5 FC )が実用に供されているが、古くから使用されているアムフォテリシンBが依然として唯一の確実な治療薬である。アムフォテリシンBの抗真菌作用は優れているが、副作用( 肝、腎障害 )が強く、使用に当たっては十分な注意が必要とされている。

### 感染症法における取り扱い

コクシジオイデス症は4類感染症全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの

・病原体の検出

例、喀痰などからの分離・培養と菌の分離( 鏡検 )など

### **【参考文献】**

1. 宮治 誠, 西村和子, 佐野文子: コクシジオイデス症とその起炎菌 . 新・土の微生物( 8 ): 土のヒト病原菌類 . pp25-32, 博友社( 東京 ) 2002.
2. Fujio J, Nishimura K, Miyaji M: Epidemiological survey of the imported mycoses in Japan. Jpn J Med Mycol 40: 103-109, 1999.
3. Miyaji M: The imported mycoses. Pathology and Clinical Medicine 9: 1301-1307, 1998.
4. Miyaji M: Biohazards caused by imported fungi. Jpn J Med Mycol 34: 113-120, 1993.

( 千葉大学真菌医学研究センター病原真菌研究部門 宮治 誠 )



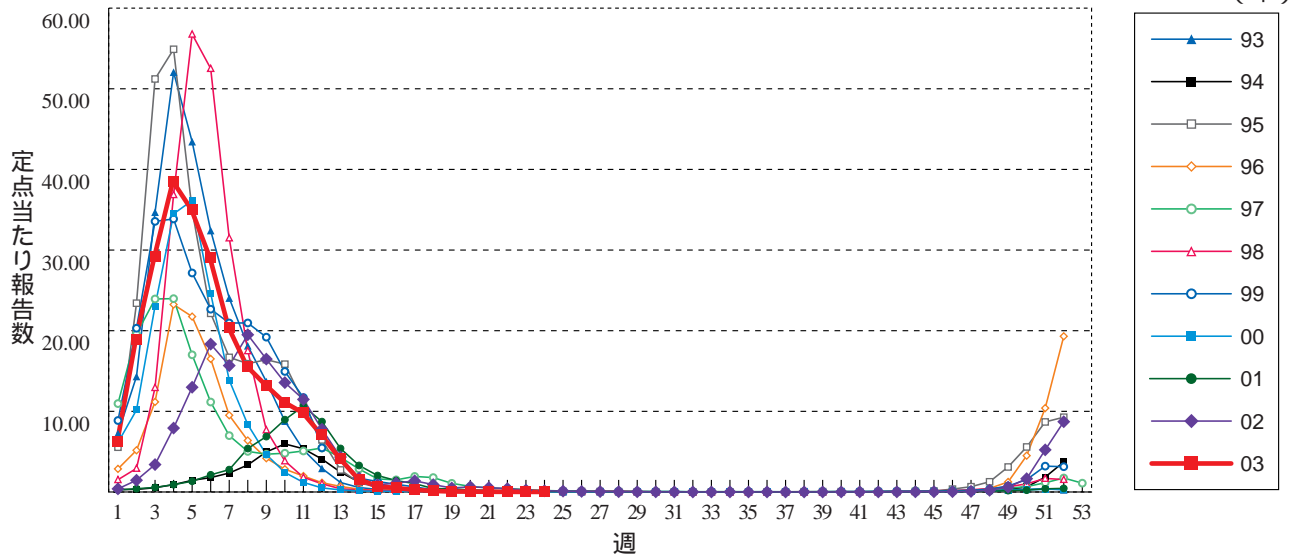
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

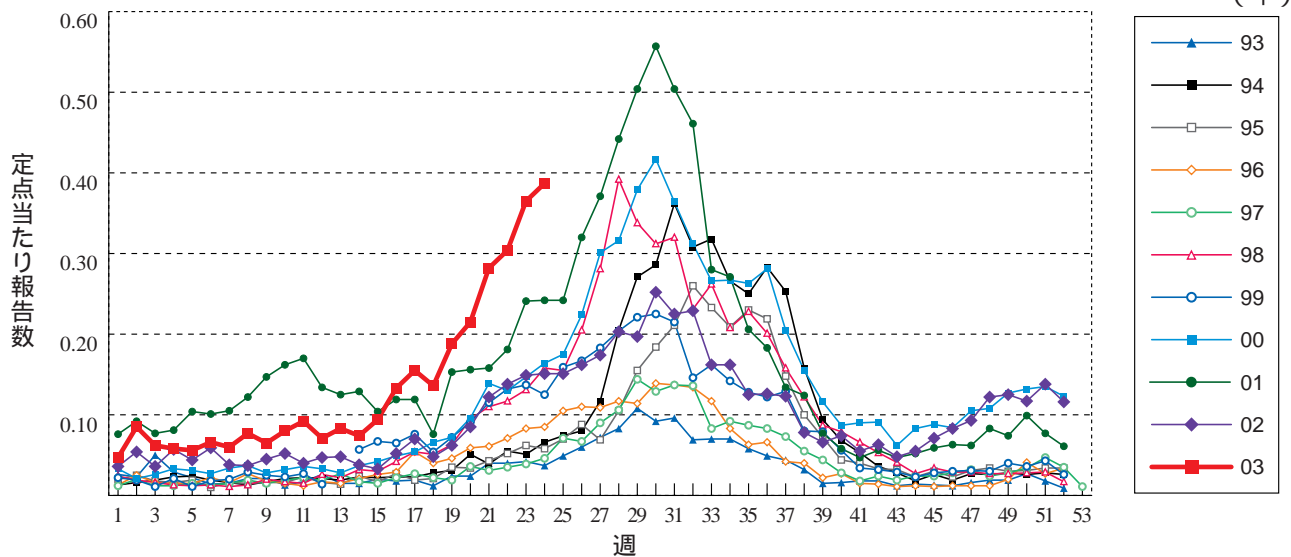
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(24週)**

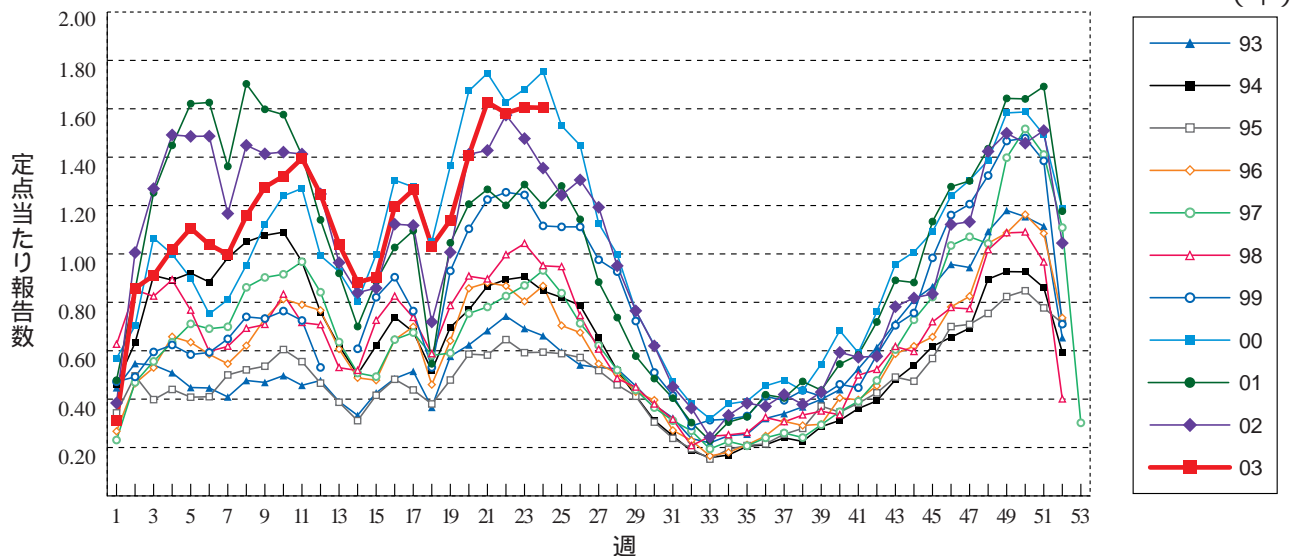
**インフルエンザ**



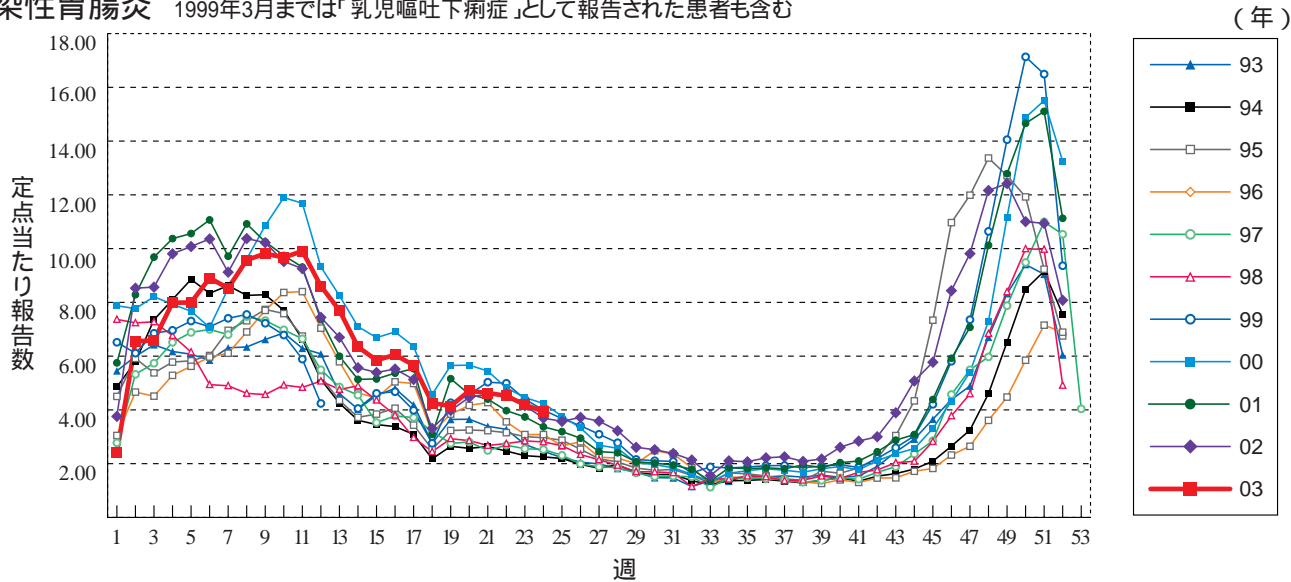
**咽頭結膜熱**



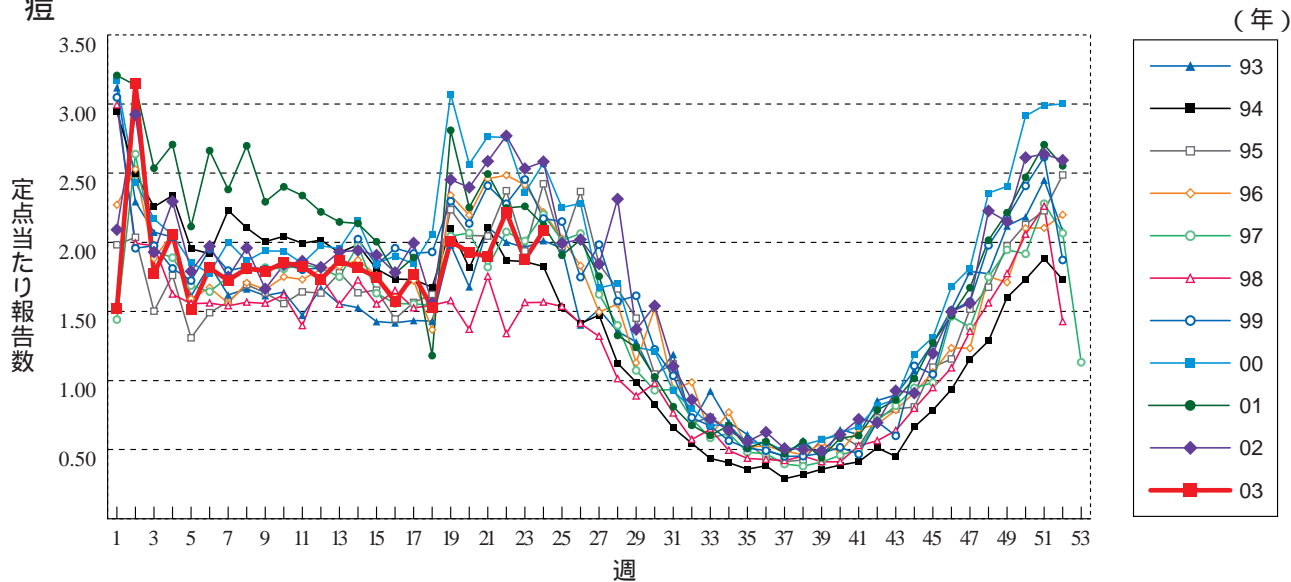
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



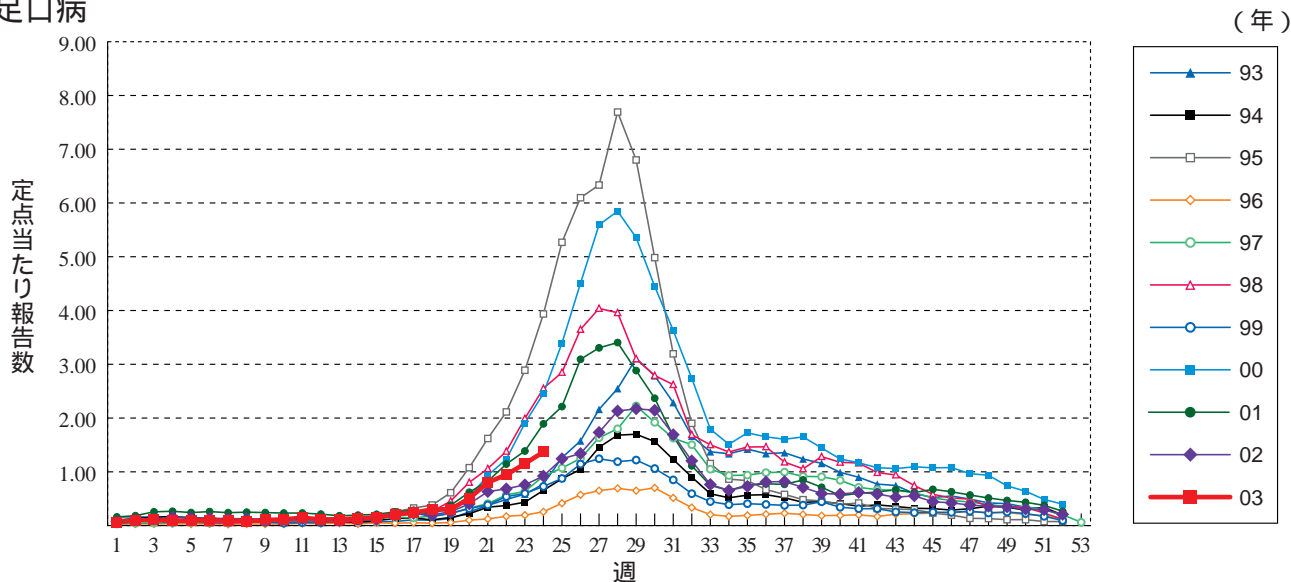
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



**水痘**

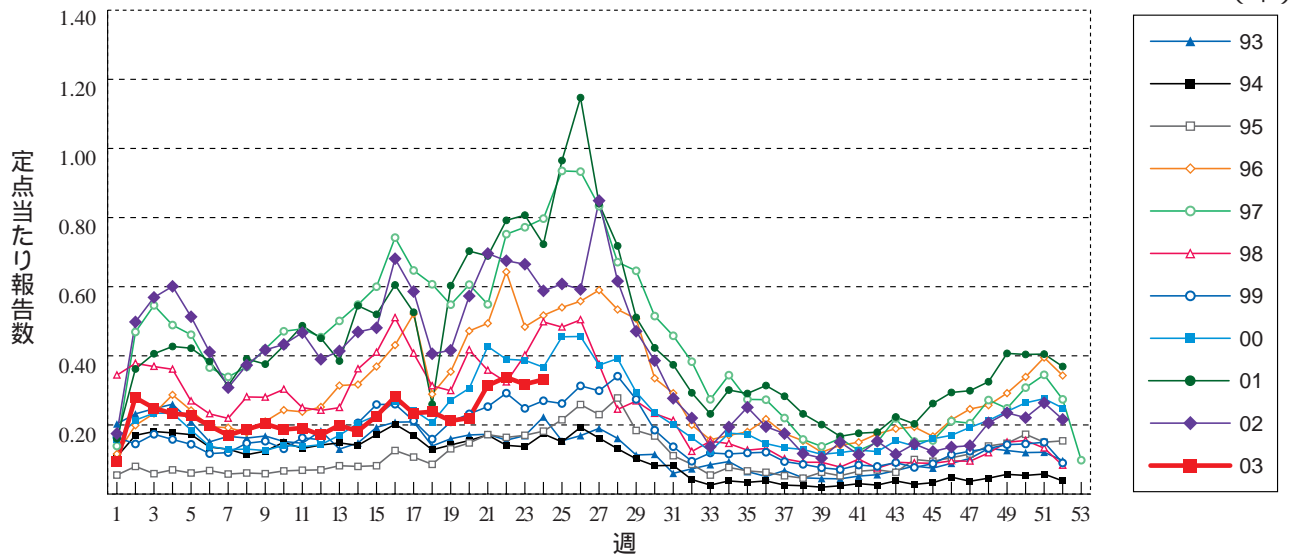


**手足口病**

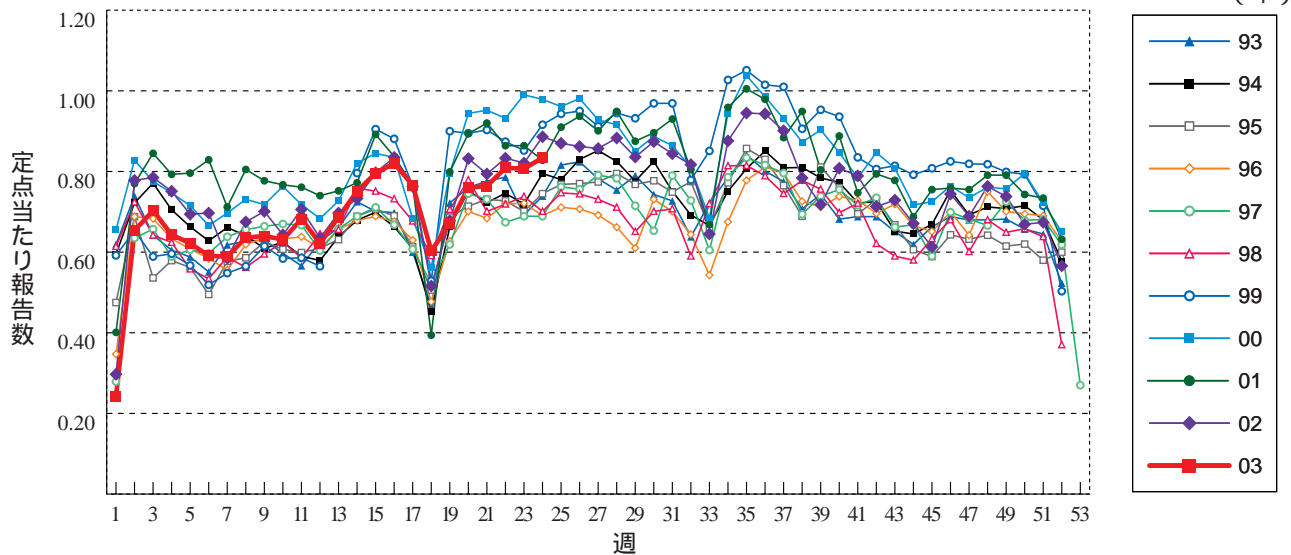




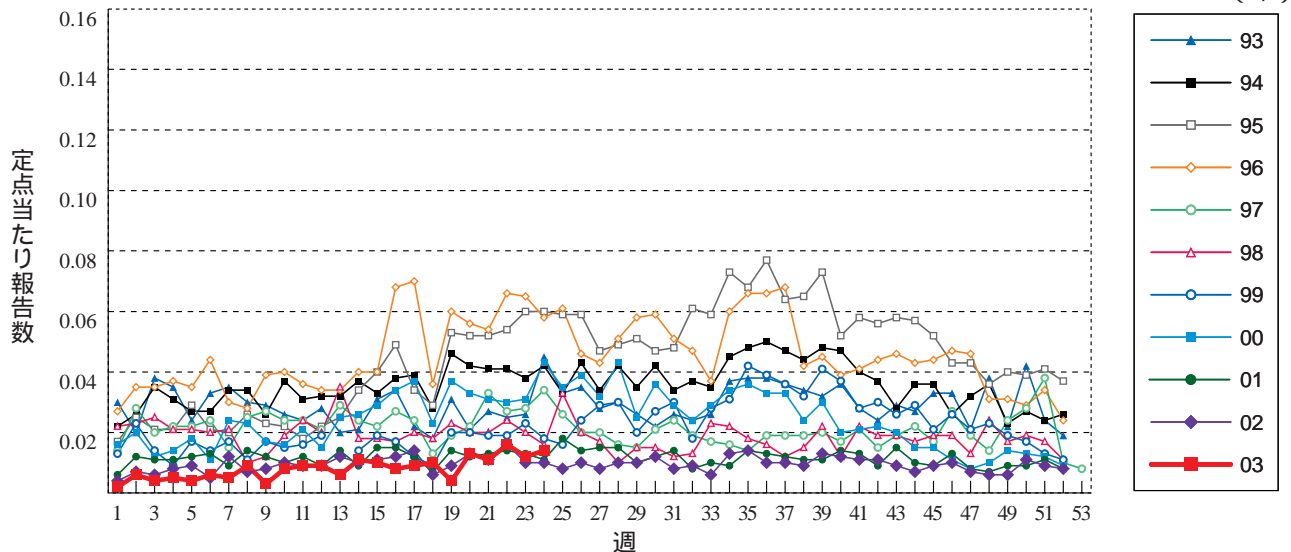
伝染性紅斑



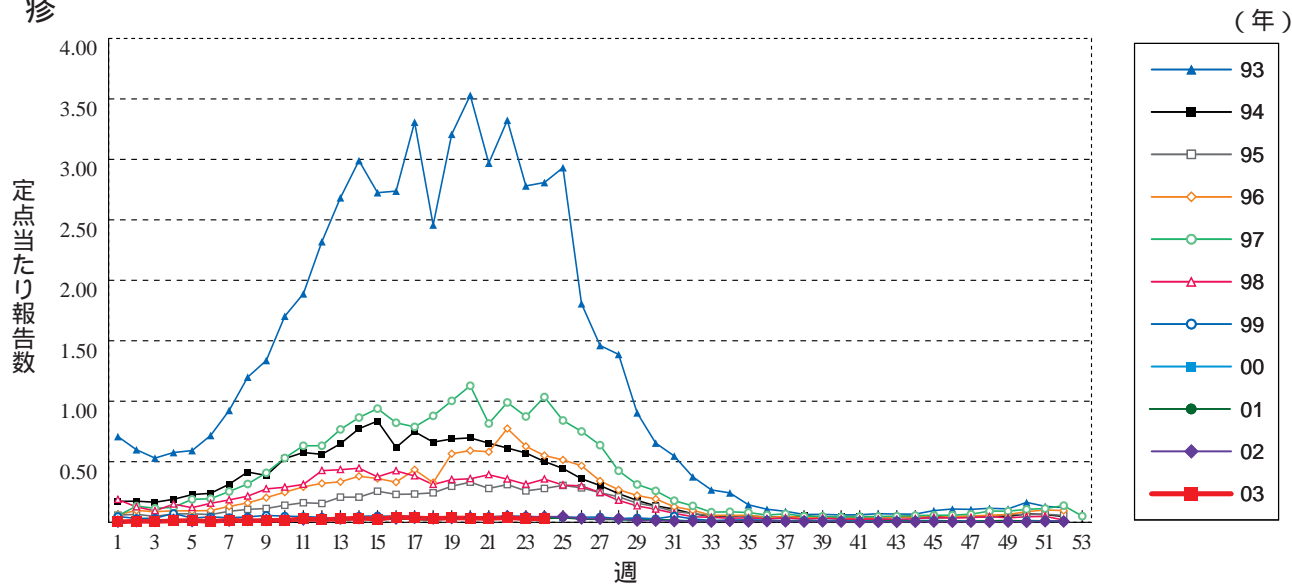
突発性発疹



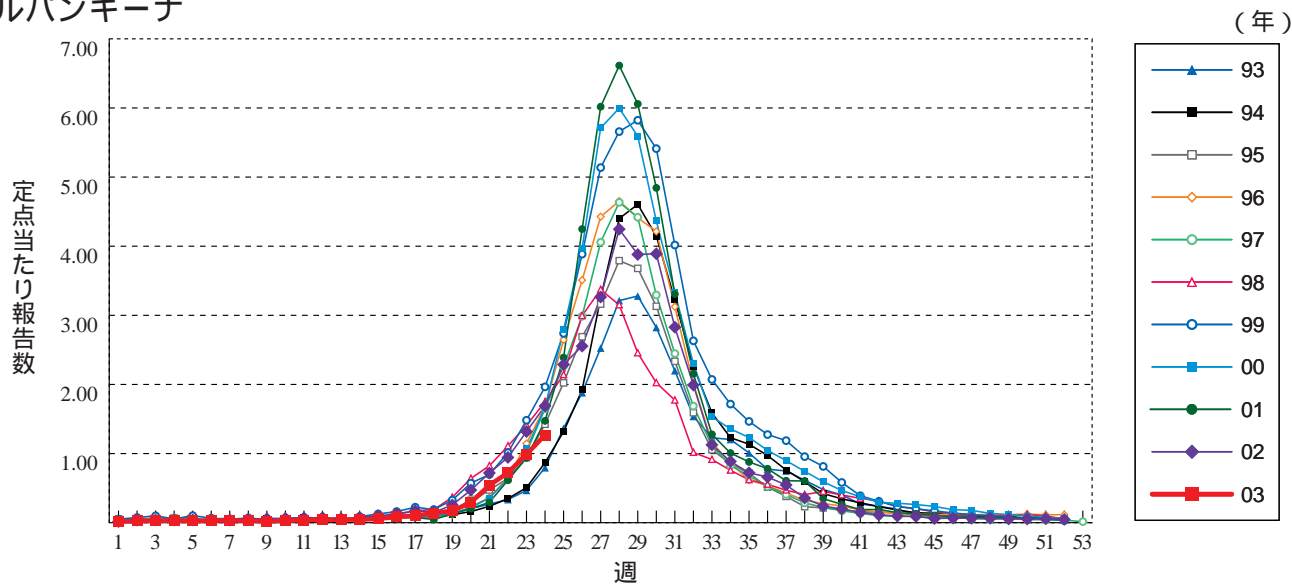
百日咳



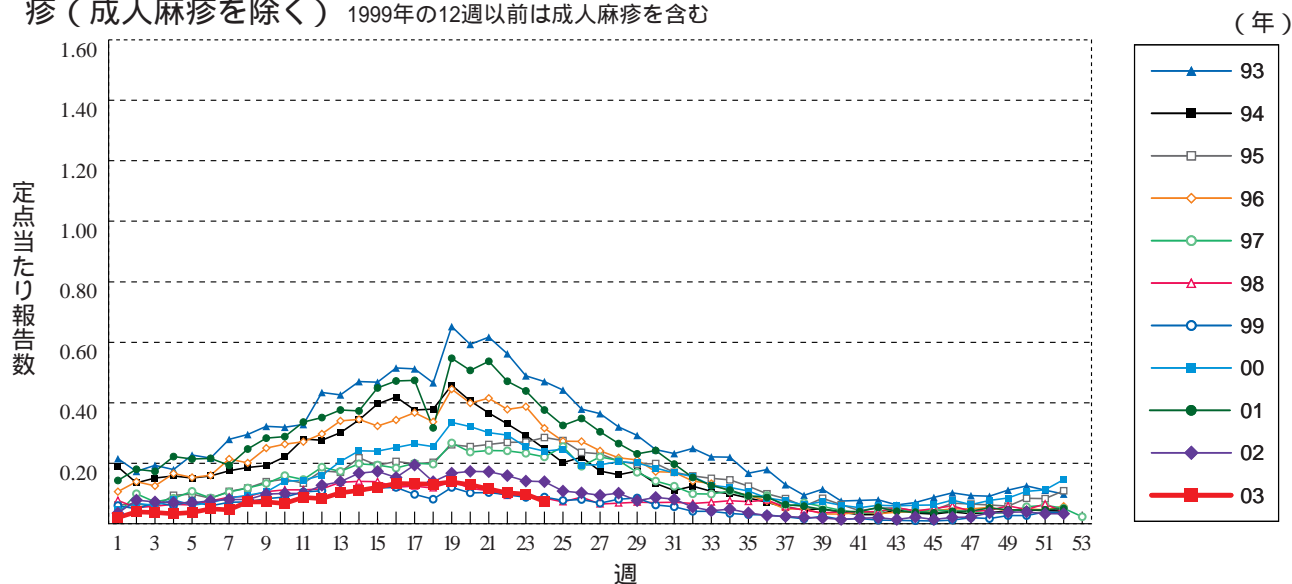
風 疹



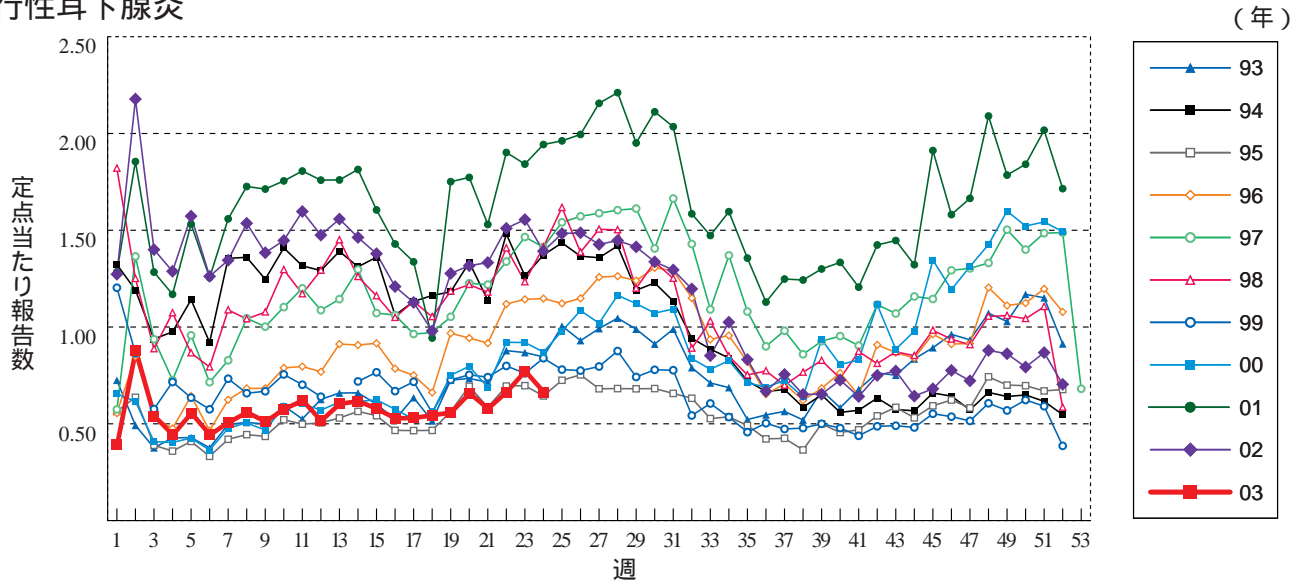
ヘルパンギーナ



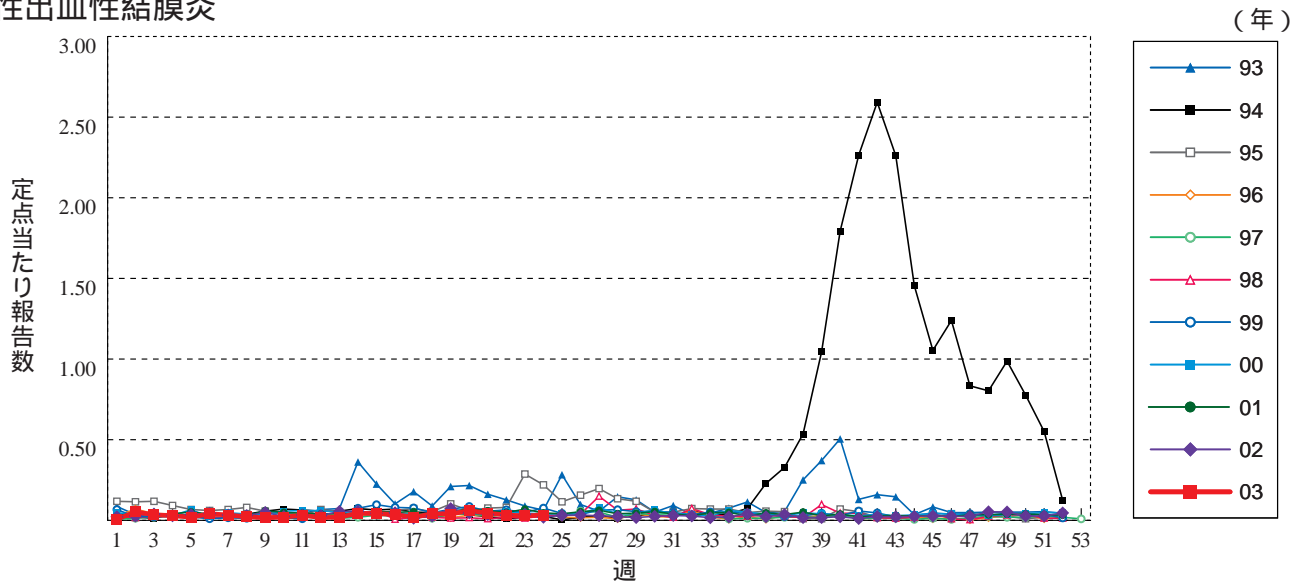
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



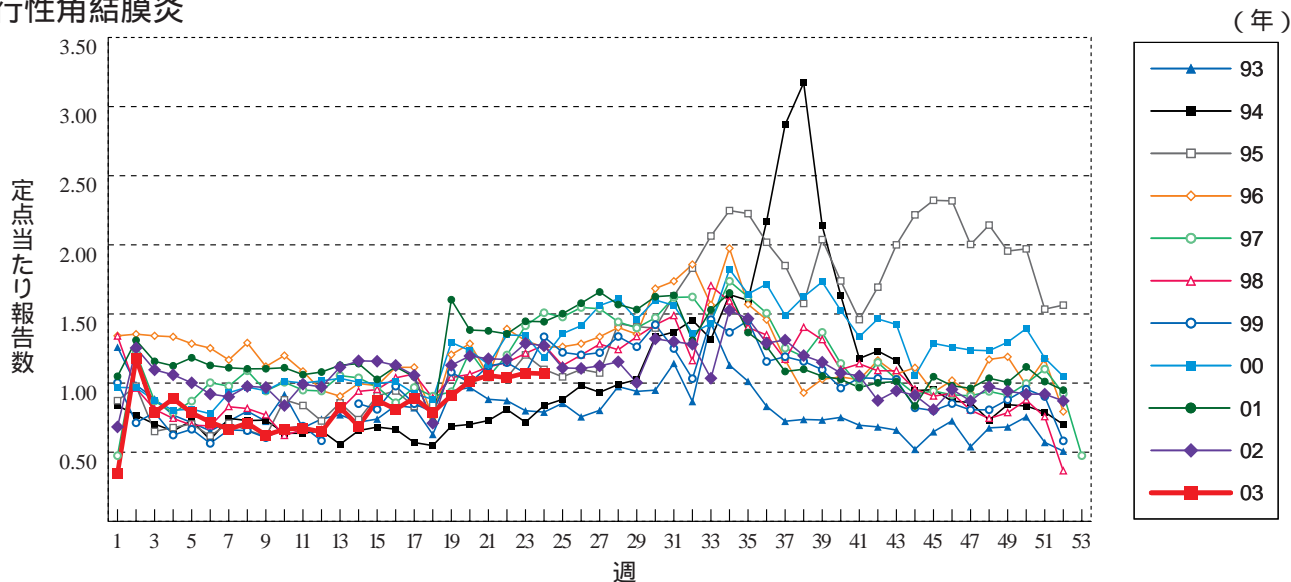
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

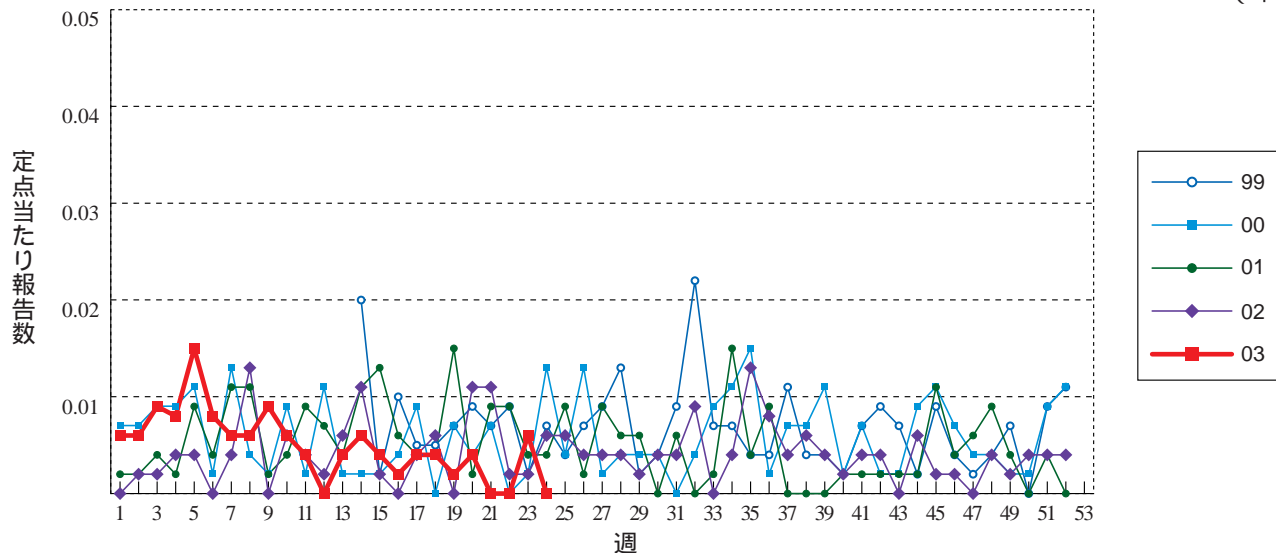


流行性角結膜炎



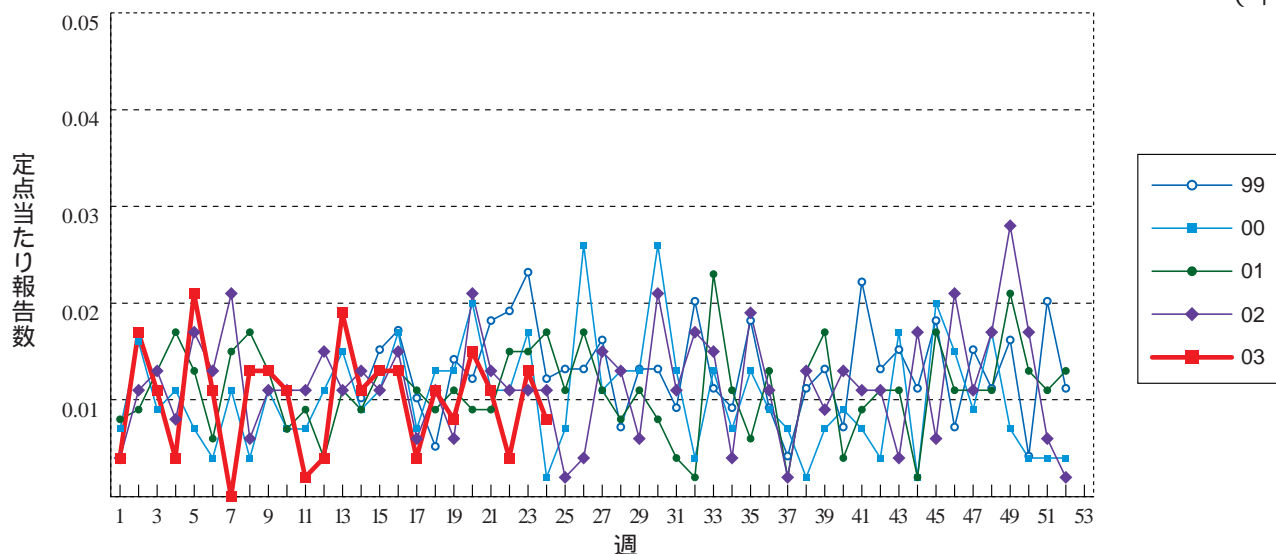
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



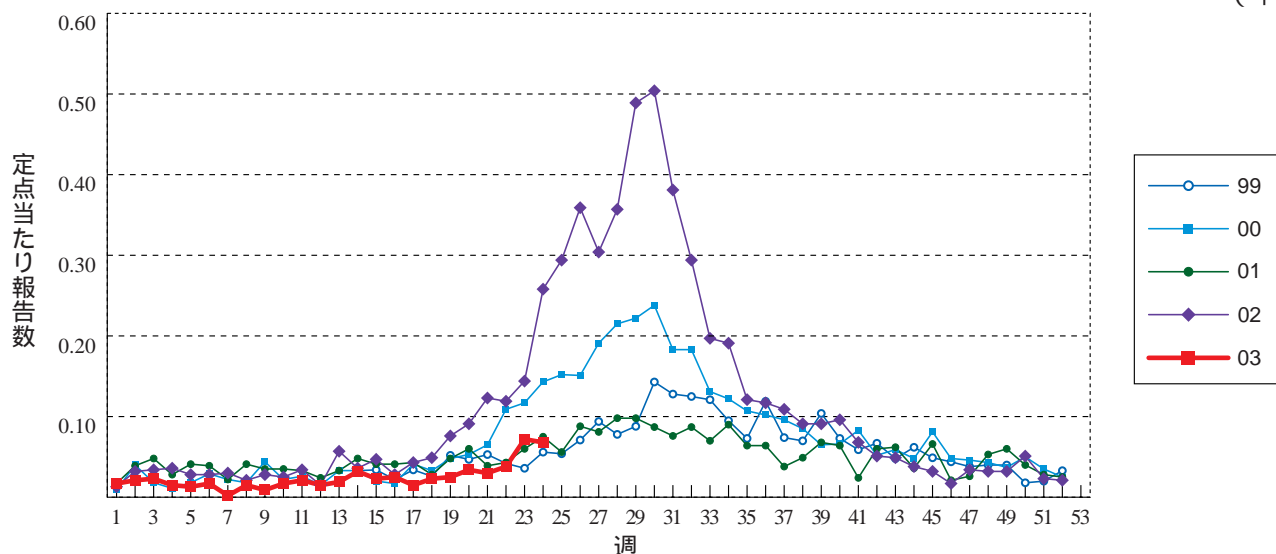
細菌性髄膜炎

(年)



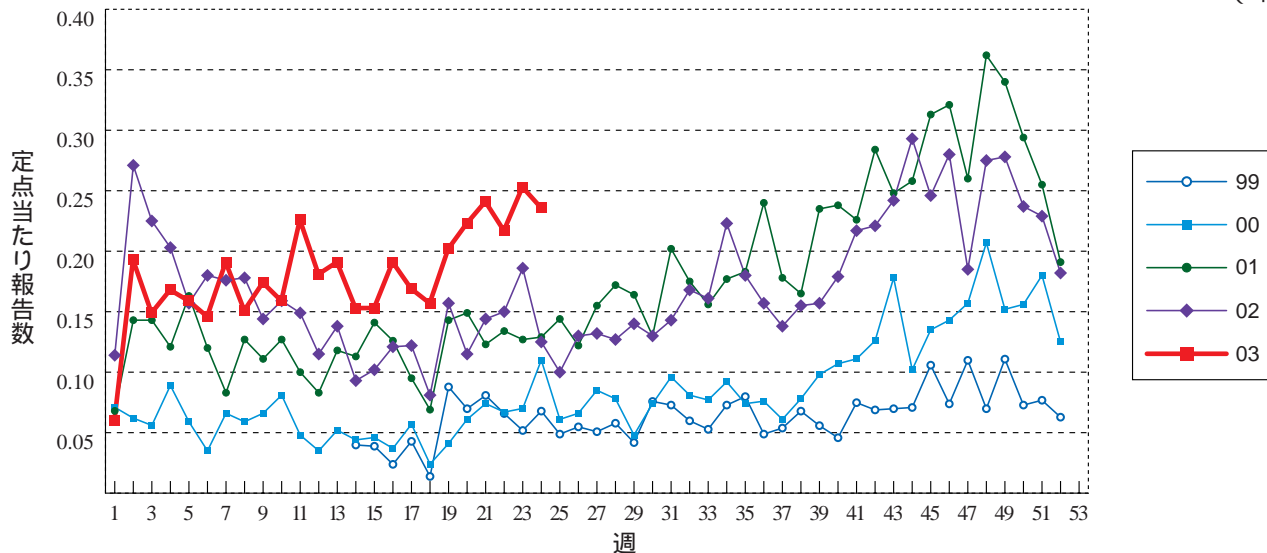
無菌性髄膜炎

(年)



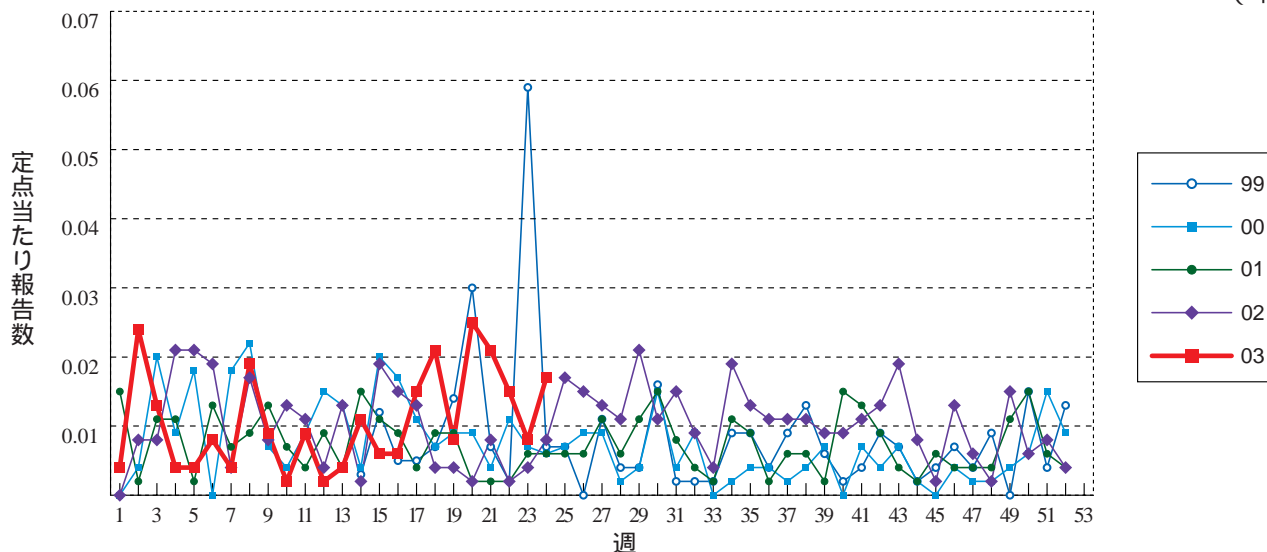
マイコプラズマ肺炎

(年)



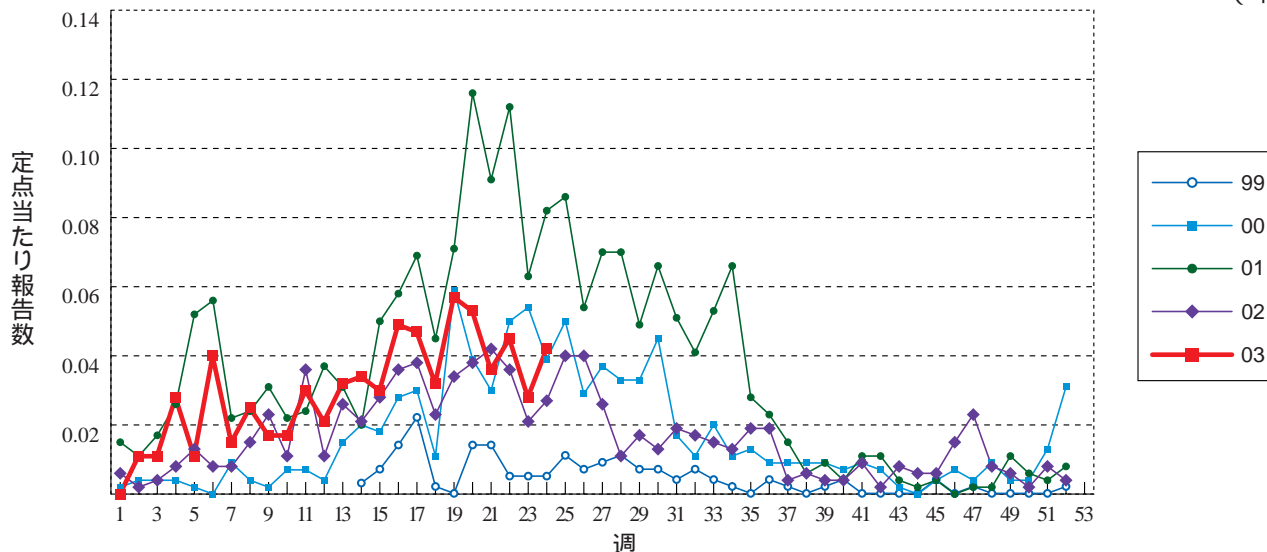
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

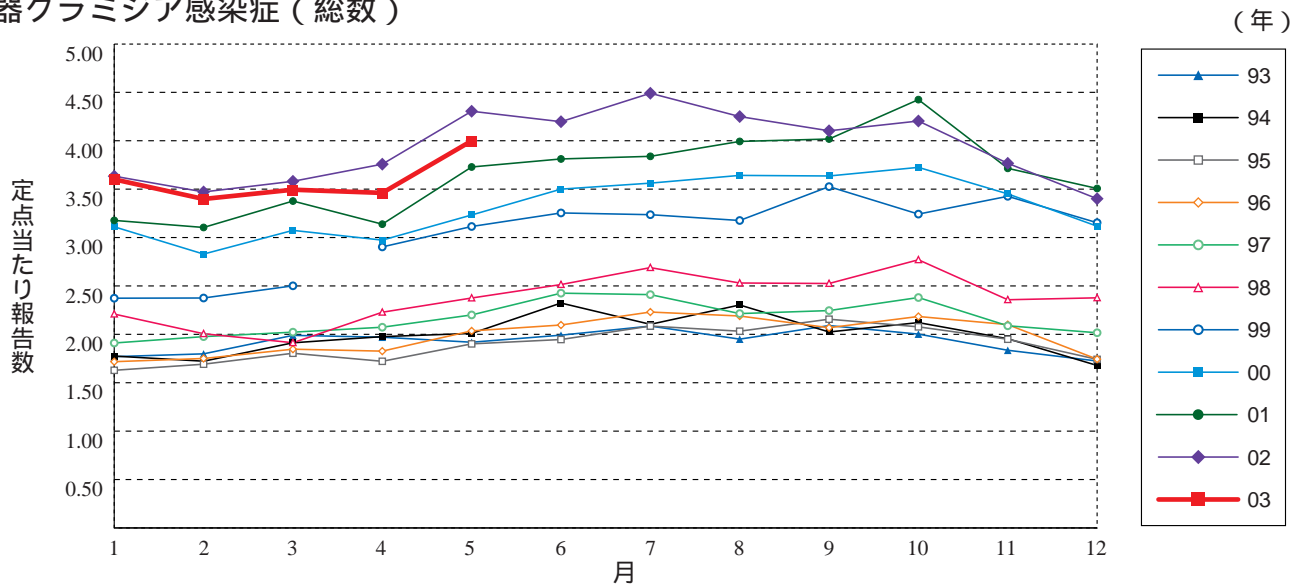




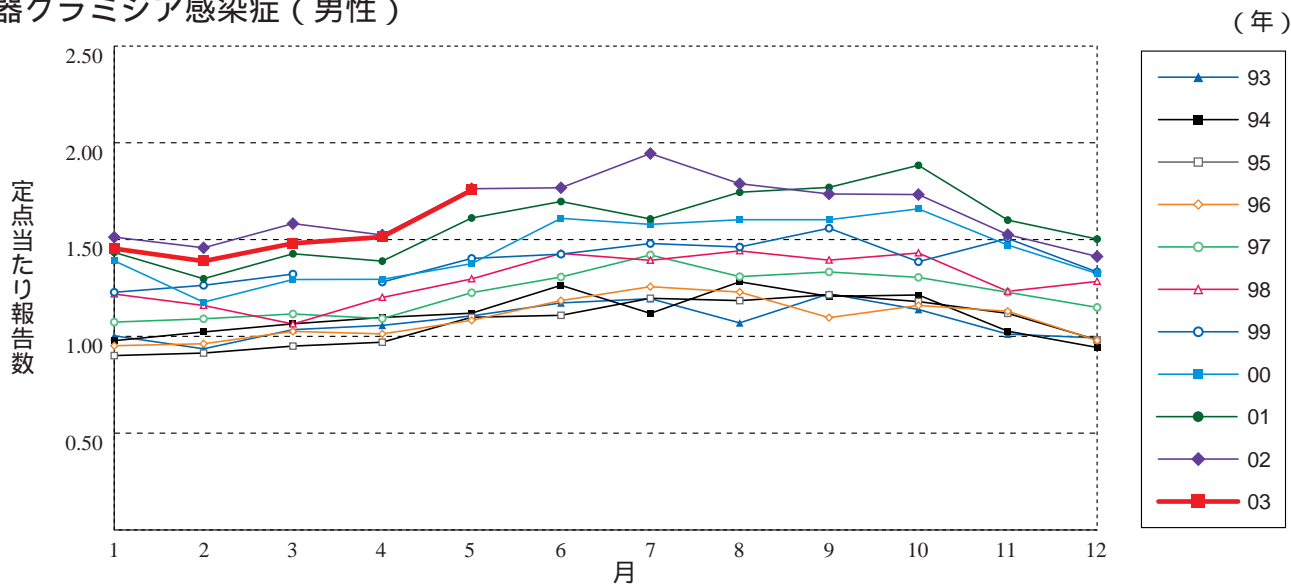
**グラフ総覧(5月)**

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

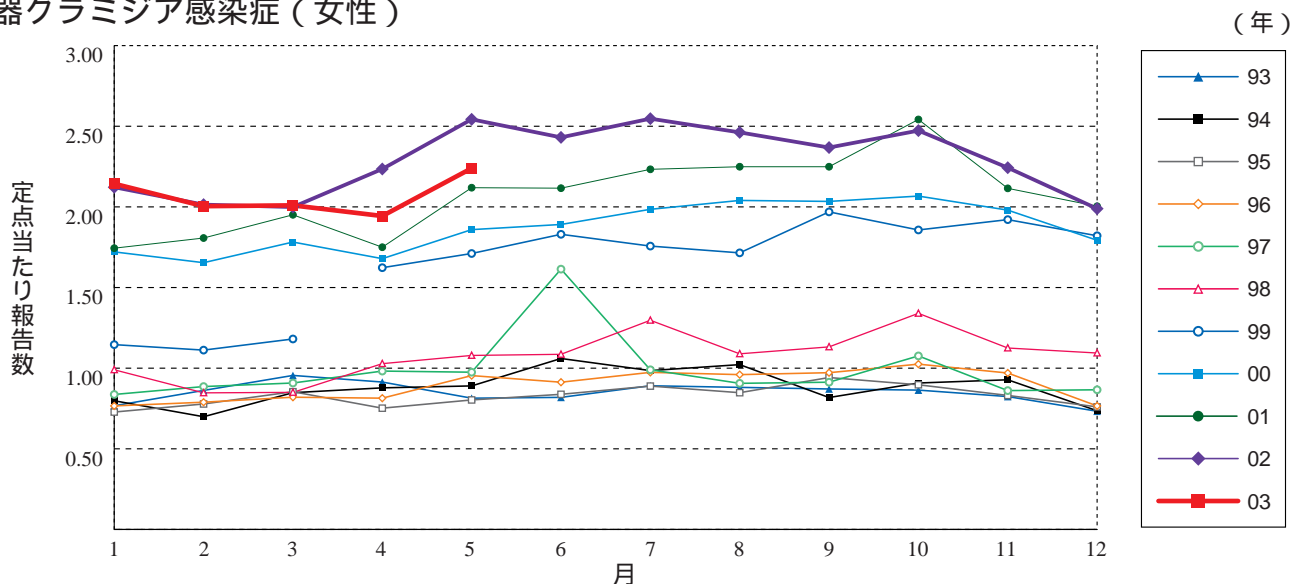
**性器クラミジア感染症(総数)**



**性器クラミジア感染症(男性)**

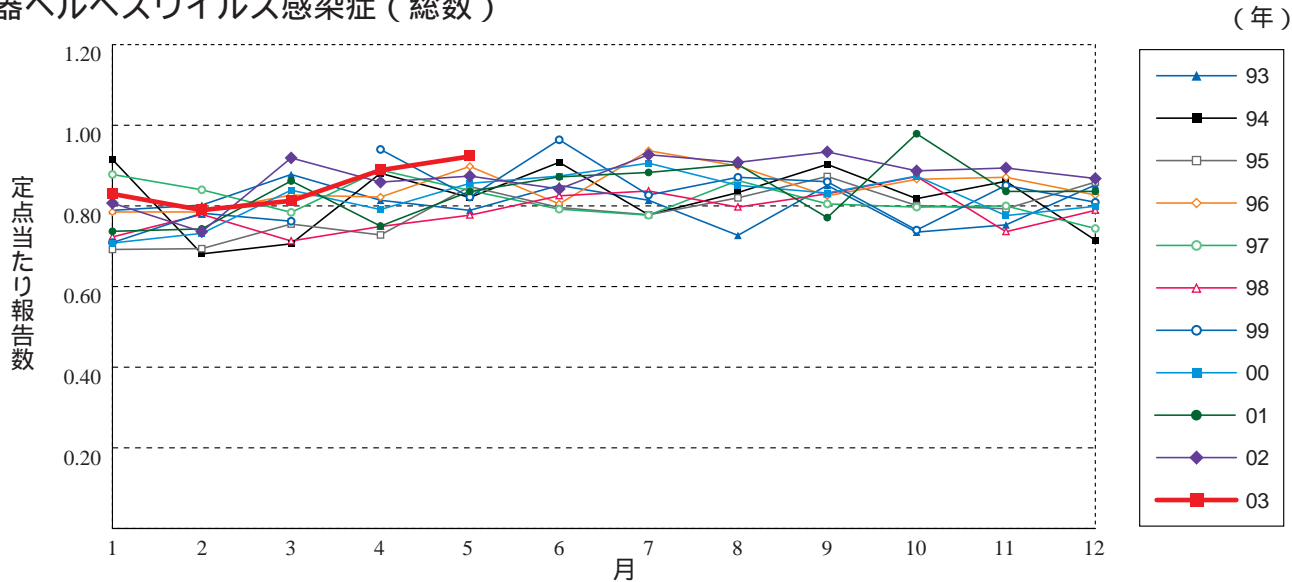


**性器クラミジア感染症(女性)**

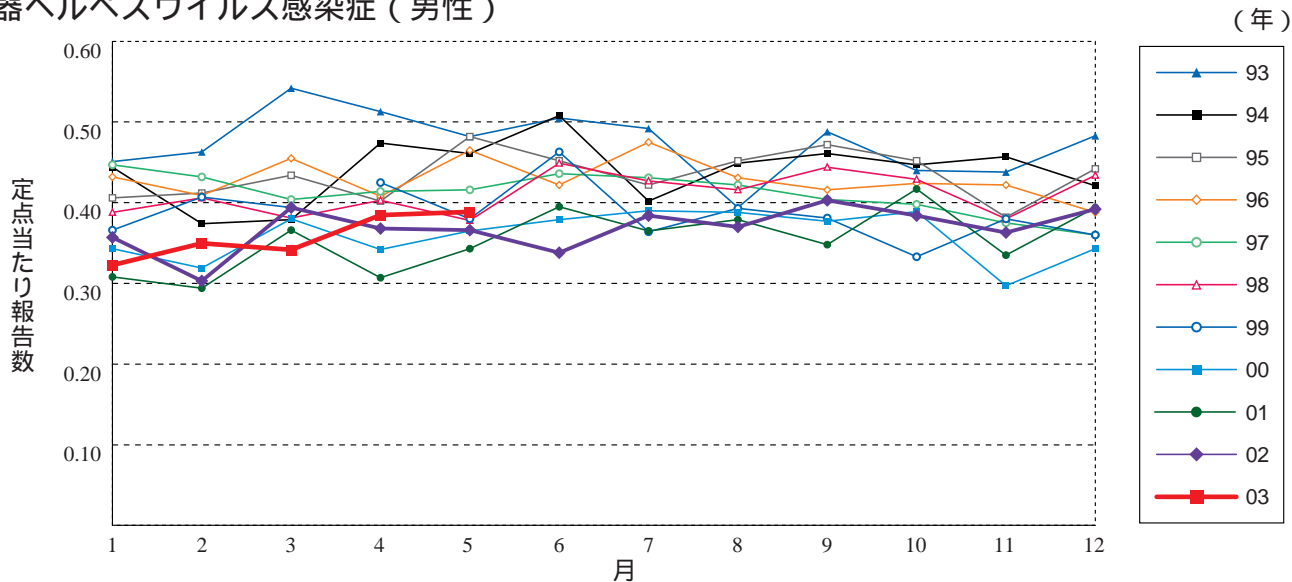




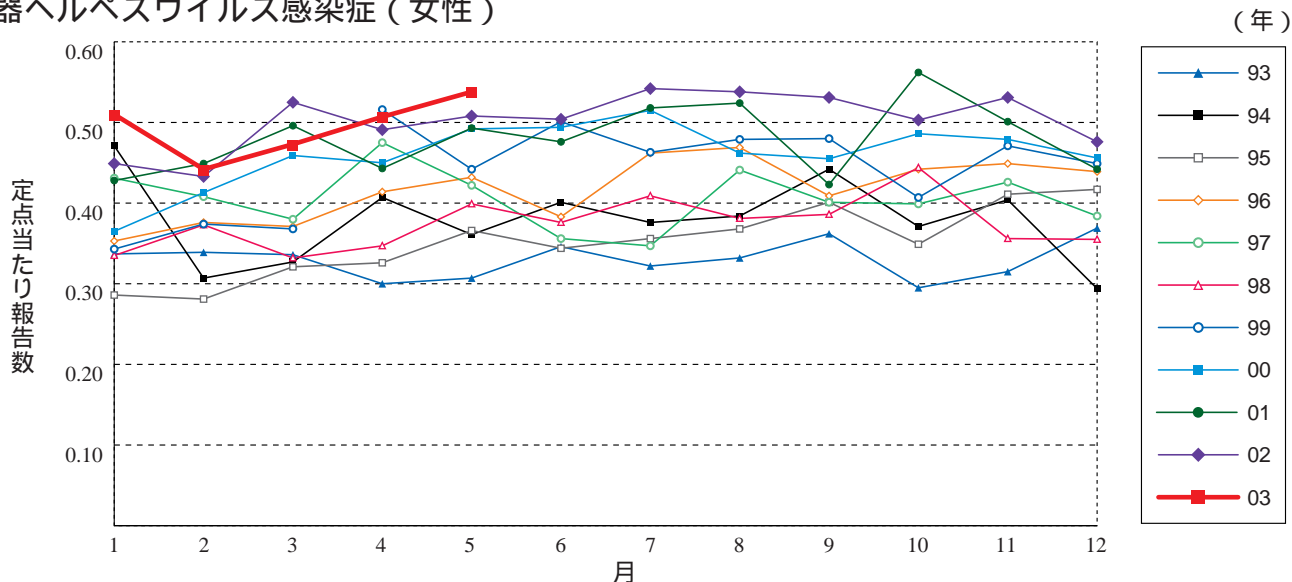
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



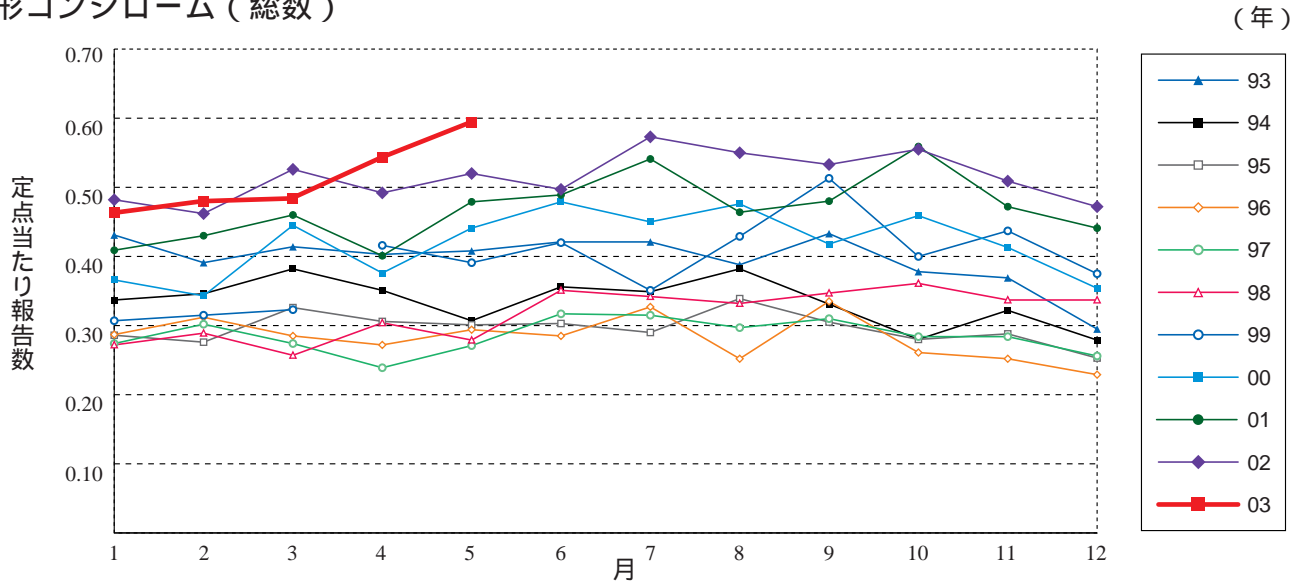
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



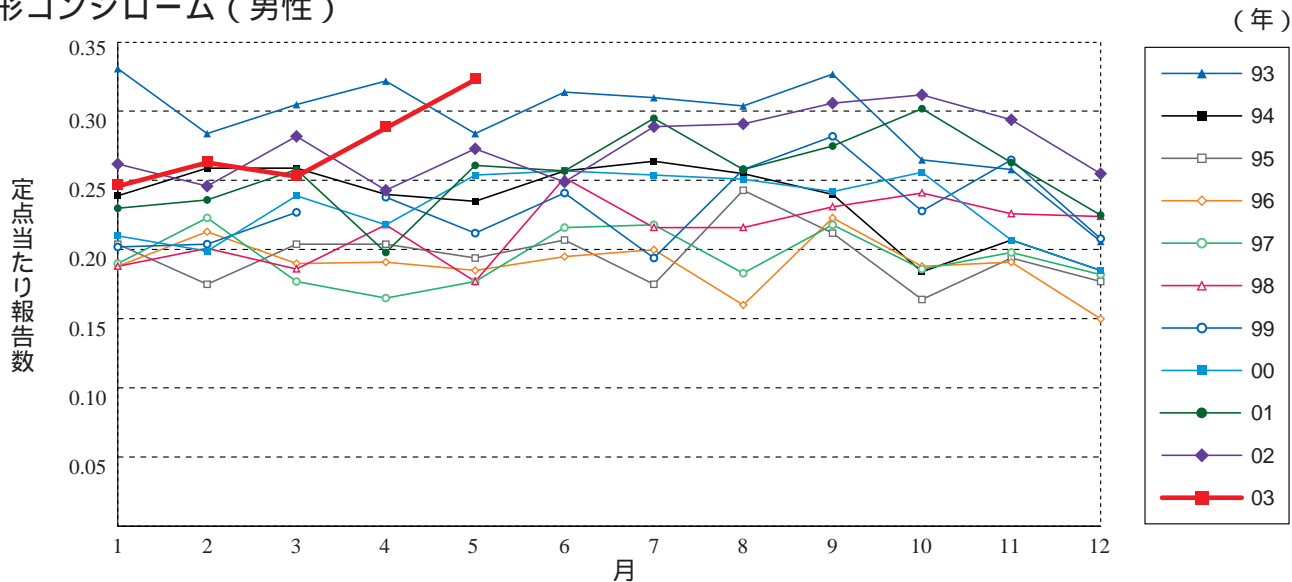
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



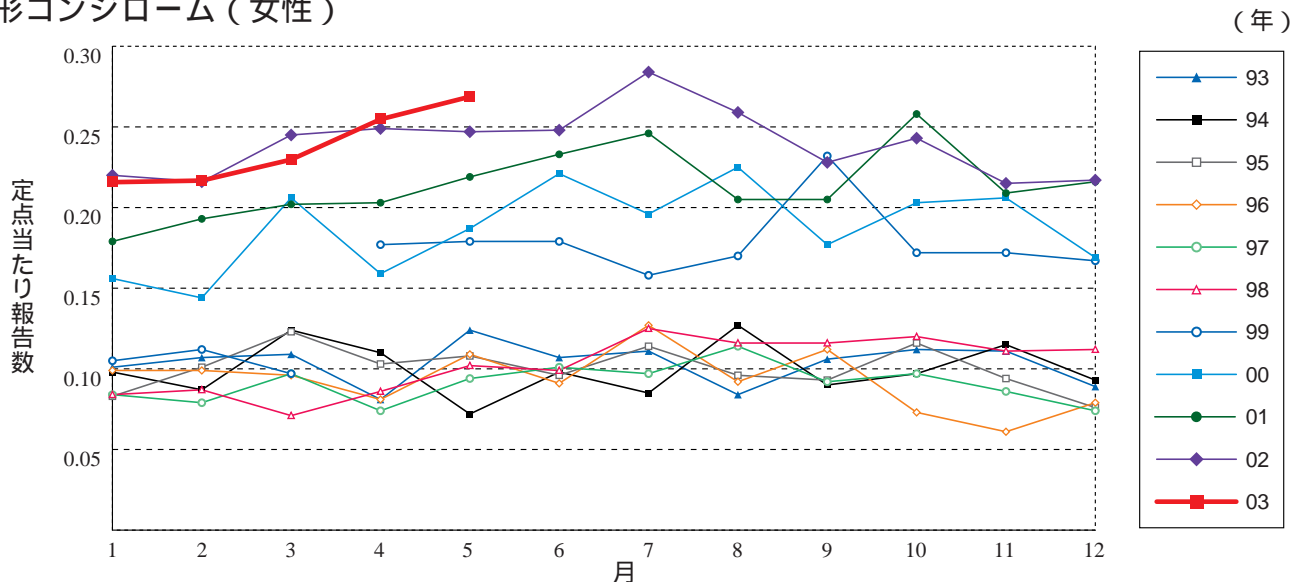
尖形コンジローム ( 総数 )



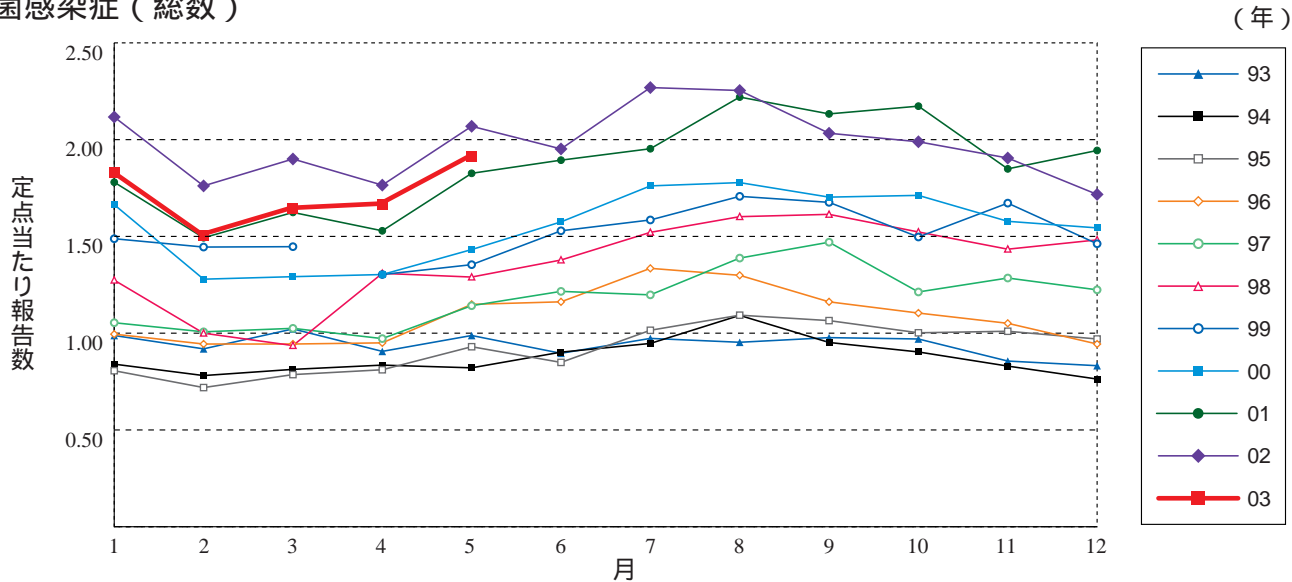
尖形コンジローム ( 男性 )



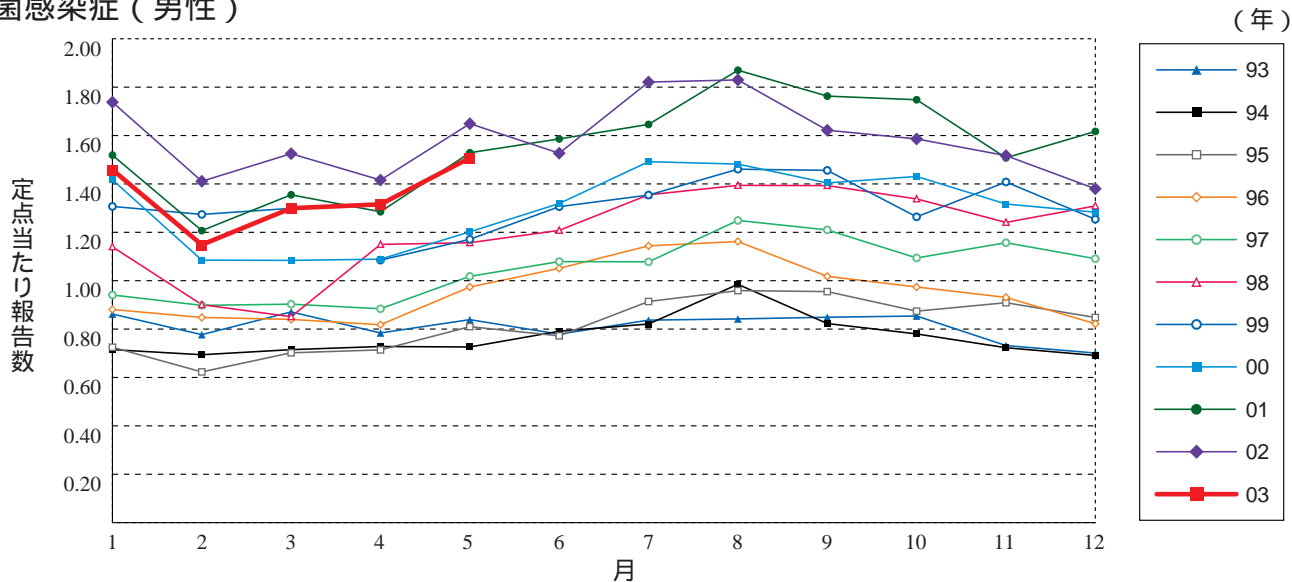
尖形コンジローム ( 女性 )



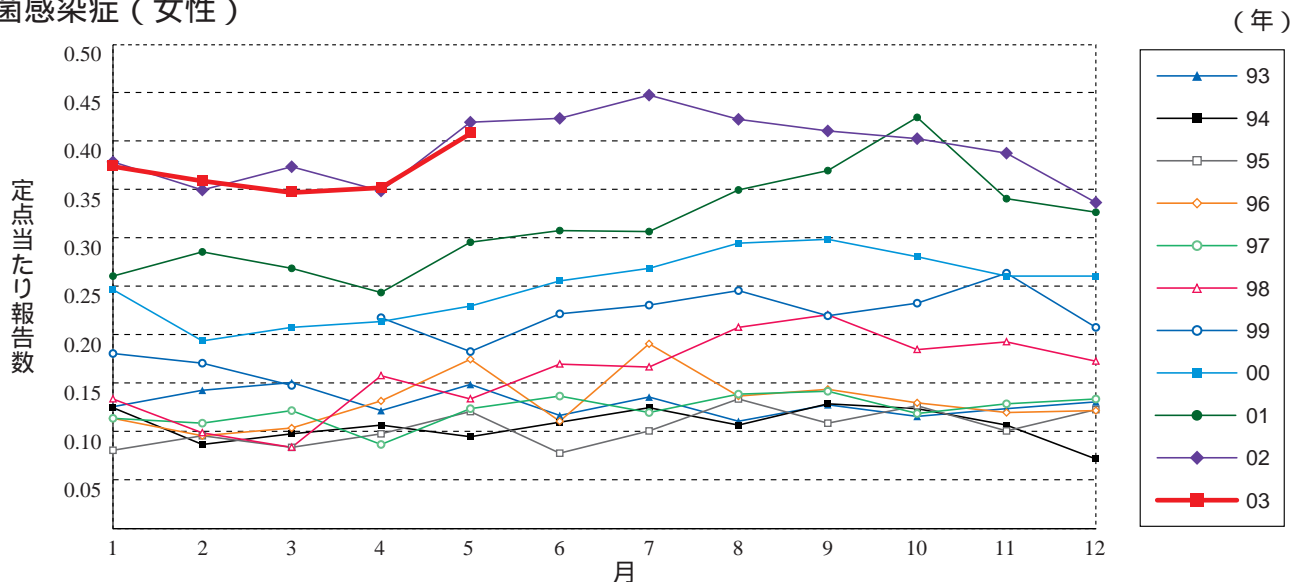
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

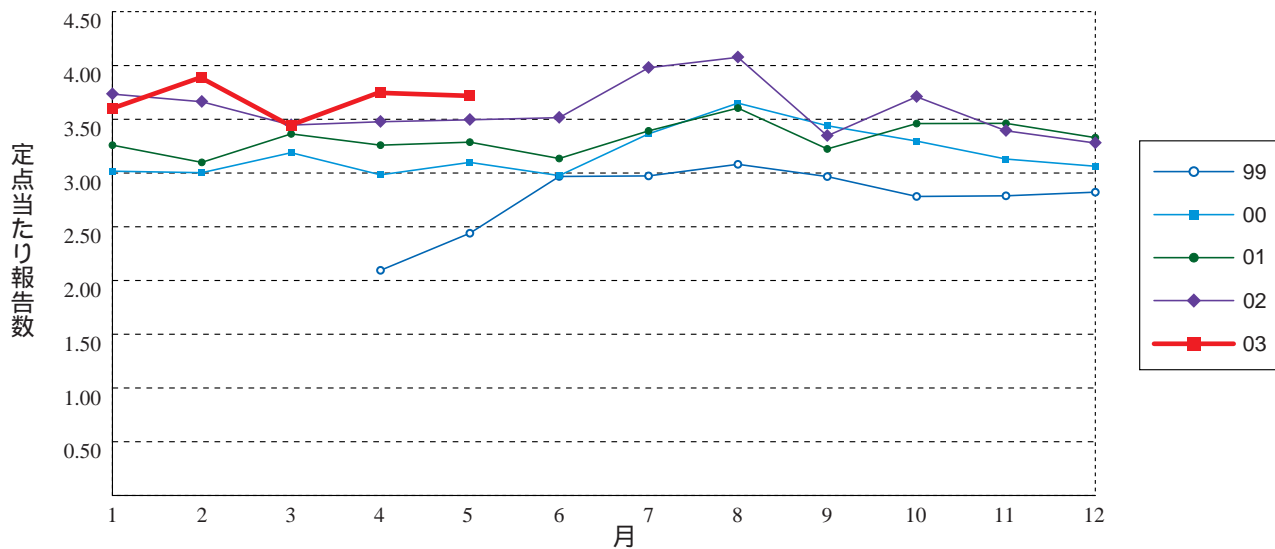


淋菌感染症（女性）



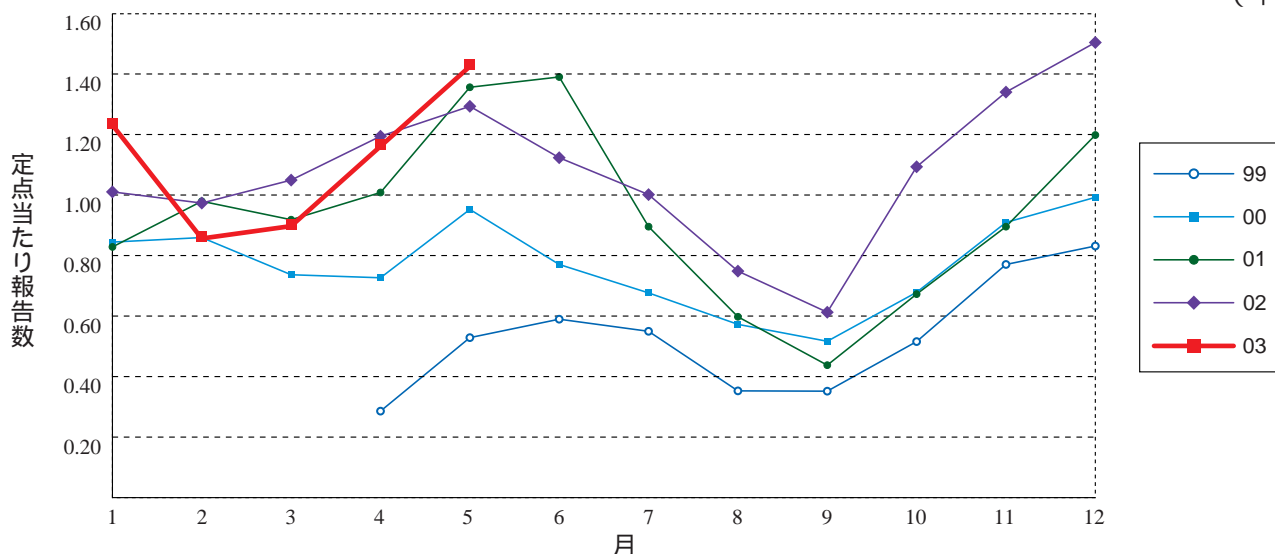
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



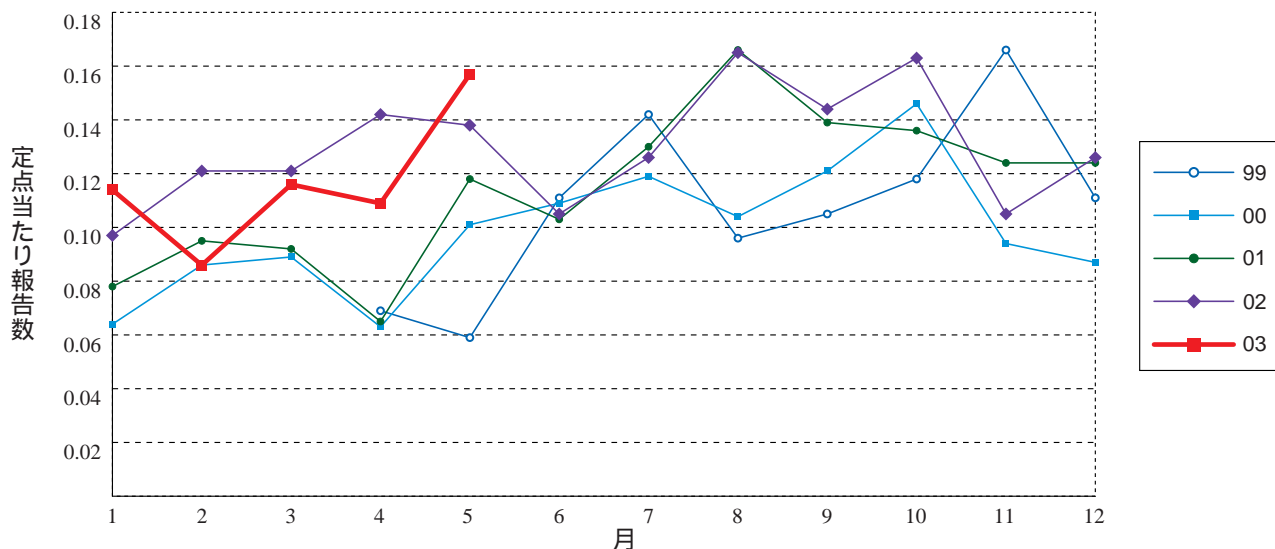
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





## 5月のデータ

注 6月11日集計分

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (総数)

平成15年5月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	3648	4.00	844	0.92	542	0.59	1747	1.91	1734	3.72	667	1.43	73	0.16
北海道	254	5.91	34	0.79	37	0.86	129	3.00	47	2.04	4	0.17	3	0.13
青森県	50	4.55	12	1.09	6	0.55	20	1.82	7	1.17	-	-	-	-
岩手県	58	4.46	8	0.62	8	0.62	30	2.31	100	5.00	3	0.15	9	0.45
宮城県	95	5.28	23	1.28	22	1.22	64	3.56	43	3.58	34	2.83	2	0.17
秋田県	43	3.07	7	0.50	9	0.64	33	2.36	33	4.71	8	1.14	-	-
山形県	26	2.60	1	0.10	4	0.40	19	1.90	52	5.20	27	2.70	1	0.10
福島県	52	3.25	17	1.06	19	1.19	30	1.88	9	1.29	-	-	-	-
茨城県	122	5.81	22	1.05	6	0.29	30	1.43	21	1.91	3	0.27	1	0.09
栃木県	68	4.25	17	1.06	12	0.75	53	3.31	40	5.71	2	0.29	-	-
群馬県	178	7.12	21	0.84	10	0.40	34	1.36	34	3.40	7	0.70	2	0.20
埼玉県	197	4.38	31	0.69	18	0.40	43	0.96	28	3.50	6	0.75	3	0.38
千葉県	125	3.29	20	0.53	19	0.50	34	0.89	35	3.89	103	11.44	1	0.11
東京都	228	5.56	74	1.80	53	1.29	113	2.76	145	5.80	78	3.12	6	0.24
神奈川県	159	2.65	41	0.68	15	0.25	40	0.67	21	1.91	32	2.91	-	-
新潟県	30	1.50	11	0.55	6	0.30	24	1.20	43	3.31	12	0.92	-	-
富山県	18	2.57	4	0.57	3	0.43	17	2.43	39	7.80	34	6.80	2	0.40
石川県	19	1.90	7	0.70	2	0.20	19	1.90	10	2.00	6	1.20	-	-
福井県	21	4.20	3	0.60	2	0.40	6	1.20	24	4.00	9	1.50	1	0.17
山梨県	19	3.17	-	-	2	0.33	4	0.67	20	2.00	15	1.50	1	0.10
長野県	56	3.50	15	0.94	8	0.50	35	2.19	37	3.36	7	0.64	-	-
岐阜県	33	2.20	4	0.27	4	0.27	20	1.33	15	3.00	-	-	-	-
静岡県	85	2.83	24	0.80	12	0.40	23	0.77	54	5.40	50	5.00	-	-
愛知県	209	4.18	35	0.70	27	0.54	138	2.76	91	7.00	3	0.23	-	-
三重県	17	1.13	5	0.33	3	0.20	15	1.00	37	4.11	-	-	-	-
滋賀県	19	2.11	1	0.11	3	0.33	13	1.44	37	5.29	-	-	-	-
京都府	46	2.00	7	0.30	7	0.30	15	0.65	5	0.83	-	-	1	0.17
大阪府	318	5.39	143	2.42	81	1.37	198	3.36	36	2.57	17	1.21	-	-
兵庫県	126	2.86	29	0.66	15	0.34	75	1.70	35	2.92	10	0.83	2	0.17
奈良県	24	2.67	3	0.33	2	0.22	8	0.89	24	4.00	4	0.67	2	0.33
和歌山県	12	1.50	12	1.50	6	0.75	6	0.75	44	4.00	5	0.45	3	0.27
鳥取県	18	3.60	-	-	-	-	8	1.60	25	5.00	-	-	-	-
島根県	13	2.17	-	-	1	0.17	10	1.67	49	6.13	19	2.38	-	-
岡山県	92	5.41	17	1.00	16	0.94	62	3.65	5	1.00	2	0.40	3	0.60
広島県	62	2.30	15	0.56	11	0.41	27	1.00	101	4.81	71	3.38	21	1.00
山口県	30	2.50	6	0.50	3	0.25	23	1.92	69	7.67	24	2.67	1	0.11
徳島県	22	3.67	4	0.67	7	1.17	3	0.50	9	1.29	-	-	-	-
香川県	25	2.78	7	0.78	7	0.78	6	0.67	18	3.60	4	0.80	2	0.40
愛媛県	28	2.55	7	0.64	5	0.45	10	0.91	20	3.33	1	0.17	-	-
高知県	10	1.67	-	-	-	-	-	-	42	5.25	22	2.75	-	-
福岡県	269	7.27	68	1.84	37	1.00	154	4.16	21	1.31	2	0.13	-	-
佐賀県	17	2.43	8	1.14	-	-	13	1.86	19	3.17	14	2.33	1	0.17
長崎県	21	2.10	18	1.80	5	0.50	7	0.70	9	0.90	1	0.10	1	0.10
熊本県	79	5.64	27	1.93	8	0.57	44	3.14	61	4.07	2	0.13	-	-
大分県	19	1.90	10	1.00	5	0.50	12	1.20	40	4.00	18	1.80	3	0.30
宮崎県	98	8.91	9	0.82	2	0.18	30	2.73	29	4.14	4	0.57	-	-
鹿児島県	71	4.44	16	1.00	11	0.69	41	2.56	22	1.83	-	-	1	0.08
沖縄県	67	5.58	1	0.08	3	0.25	9	0.75	29	4.14	4	0.57	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成15年5月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1604	1.76	354	0.39	296	0.32	1374	1.50	1109	2.38	386	0.83	51	0.11
北海道	71	1.65	9	0.21	21	0.49	58	1.35	32	1.39	4	0.17	3	0.13
青森県	18	1.64	5	0.45	3	0.27	15	1.36	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	36	2.77	2	0.15	5	0.38	27	2.08	65	3.25	3	0.15	5	0.25
宮城県	45	2.50	4	0.22	15	0.83	47	2.61	35	2.92	25	2.08	2	0.17
秋田県	25	1.79	1	0.07	6	0.43	29	2.07	23	3.29	3	0.43	-	-
山形県	13	1.30	-	-	2	0.20	13	1.30	37	3.70	17	1.70	-	-
福島県	10	0.63	6	0.38	3	0.19	26	1.63	5	0.71	-	-	-	-
茨城県	63	3.00	7	0.33	5	0.24	23	1.10	13	1.18	2	0.18	1	0.09
栃木県	41	2.56	14	0.88	12	0.75	51	3.19	22	3.14	1	0.14	-	-
群馬県	104	4.16	7	0.28	6	0.24	25	1.00	20	2.00	4	0.40	1	0.10
埼玉県	50	1.11	11	0.24	9	0.20	35	0.78	16	2.00	4	0.50	2	0.25
千葉県	61	1.61	12	0.32	12	0.32	32	0.84	26	2.89	60	6.67	1	0.11
東京都	98	2.39	28	0.68	31	0.76	84	2.05	93	3.72	50	2.00	4	0.16
神奈川県	83	1.38	17	0.28	9	0.15	40	0.67	11	1.00	14	1.27	-	-
新潟県	17	0.85	2	0.10	3	0.15	19	0.95	27	2.08	6	0.46	-	-
富山県	11	1.57	1	0.14	2	0.29	17	2.43	28	5.60	23	4.60	2	0.40
石川県	14	1.40	3	0.30	-	-	18	1.80	6	1.20	3	0.60	-	-
福井県	8	1.60	2	0.40	2	0.40	6	1.20	16	2.67	6	1.00	1	0.17
山梨県	2	0.33	-	-	1	0.17	2	0.33	13	1.30	9	0.90	-	-
長野県	21	1.31	7	0.44	4	0.25	28	1.75	22	2.00	4	0.36	-	-
岐阜県	17	1.13	3	0.20	2	0.13	17	1.13	9	1.80	-	-	-	-
静岡県	28	0.93	11	0.37	6	0.20	16	0.53	38	3.80	25	2.50	-	-
愛知県	121	2.42	18	0.36	20	0.40	123	2.46	62	4.77	2	0.15	-	-
三重県	8	0.53	3	0.20	1	0.07	15	1.00	17	1.89	-	-	-	-
滋賀県	10	1.11	-	-	1	0.11	12	1.33	21	3.00	-	-	-	-
京都府	12	0.52	2	0.09	5	0.22	12	0.52	4	0.67	-	-	1	0.17
大阪府	138	2.34	69	1.17	44	0.75	153	2.59	25	1.79	10	0.71	-	-
兵庫県	69	1.57	12	0.27	13	0.30	65	1.48	26	2.17	6	0.50	2	0.17
奈良県	15	1.67	3	0.33	2	0.22	8	0.89	18	3.00	2	0.33	1	0.17
和歌山県	6	0.75	7	0.88	5	0.63	6	0.75	28	2.55	1	0.09	2	0.18
鳥取県	8	1.60	-	-	-	-	8	1.60	17	3.40	-	-	-	-
島根県	6	1.00	-	-	1	0.17	10	1.67	31	3.88	9	1.13	-	-
岡山県	34	2.00	2	0.12	6	0.35	38	2.24	3	0.60	2	0.40	3	0.60
広島県	32	1.19	7	0.26	3	0.11	21	0.78	60	2.86	36	1.71	16	0.76
山口県	14	1.17	2	0.17	1	0.08	18	1.50	45	5.00	10	1.11	-	-
徳島県	20	3.33	4	0.67	6	1.00	3	0.50	6	0.86	-	-	-	-
香川県	7	0.78	1	0.11	3	0.33	4	0.44	10	2.00	4	0.80	-	-
愛媛県	11	1.00	4	0.36	3	0.27	9	0.82	15	2.50	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	22	2.75	13	1.63	-	-
福岡県	119	3.22	30	0.81	9	0.24	120	3.24	13	0.81	1	0.06	-	-
佐賀県	14	2.00	2	0.29	-	-	9	1.29	12	2.00	10	1.67	-	-
長崎県	6	0.60	6	0.60	2	0.20	7	0.70	6	0.60	1	0.10	1	0.10
熊本県	30	2.14	10	0.71	5	0.36	35	2.50	32	2.13	1	0.07	-	-
大分県	8	0.80	3	0.30	1	0.10	10	1.00	23	2.30	9	0.90	2	0.20
宮崎県	29	2.64	4	0.36	1	0.09	25	2.27	15	2.14	3	0.43	-	-
鹿児島県	48	3.00	12	0.75	5	0.31	31	1.94	15	1.25	-	-	1	0.08
沖縄県	3	0.25	1	0.08	-	-	4	0.33	20	2.86	3	0.43	-	-



第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成15年5月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2044	2.24	490	0.54	246	0.27	373	0.41	625	1.34	281	0.60	22	0.05
北海道	183	4.26	25	0.58	16	0.37	71	1.65	15	0.65	-	-	-	-
青森県	32	2.91	7	0.64	3	0.27	5	0.45	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	22	1.69	6	0.46	3	0.23	3	0.23	35	1.75	-	-	4	0.20
宮城県	50	2.78	19	1.06	7	0.39	17	0.94	8	0.67	9	0.75	-	-
秋田県	18	1.29	6	0.43	3	0.21	4	0.29	10	1.43	5	0.71	-	-
山形県	13	1.30	1	0.10	2	0.20	6	0.60	15	1.50	10	1.00	1	0.10
福島県	42	2.63	11	0.69	16	1.00	4	0.25	4	0.57	-	-	-	-
茨城県	59	2.81	15	0.71	1	0.05	7	0.33	8	0.73	1	0.09	-	-
栃木県	27	1.69	3	0.19	-	-	2	0.13	18	2.57	1	0.14	-	-
群馬県	74	2.96	14	0.56	4	0.16	9	0.36	14	1.40	3	0.30	1	0.10
埼玉県	147	3.27	20	0.44	9	0.20	8	0.18	12	1.50	2	0.25	1	0.13
千葉県	64	1.68	8	0.21	7	0.18	2	0.05	9	1.00	43	4.78	-	-
東京都	130	3.17	46	1.12	22	0.54	29	0.71	52	2.08	28	1.12	2	0.08
神奈川県	76	1.27	24	0.40	6	0.10	-	-	10	0.91	18	1.64	-	-
新潟県	13	0.65	9	0.45	3	0.15	5	0.25	16	1.23	6	0.46	-	-
富山県	7	1.00	3	0.43	1	0.14	-	-	11	2.20	11	2.20	-	-
石川県	5	0.50	4	0.40	2	0.20	1	0.10	4	0.80	3	0.60	-	-
福井県	13	2.60	1	0.20	-	-	-	-	8	1.33	3	0.50	-	-
山梨県	17	2.83	-	-	1	0.17	2	0.33	7	0.70	6	0.60	1	0.10
長野県	35	2.19	8	0.50	4	0.25	7	0.44	15	1.36	3	0.27	-	-
岐阜県	16	1.07	1	0.07	2	0.13	3	0.20	6	1.20	-	-	-	-
静岡県	57	1.90	13	0.43	6	0.20	7	0.23	16	1.60	25	2.50	-	-
愛知県	88	1.76	17	0.34	7	0.14	15	0.30	29	2.23	1	0.08	-	-
三重県	9	0.60	2	0.13	2	0.13	-	-	20	2.22	-	-	-	-
滋賀県	9	1.00	1	0.11	2	0.22	1	0.11	16	2.29	-	-	-	-
京都府	34	1.48	5	0.22	2	0.09	3	0.13	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	180	3.05	74	1.25	37	0.63	45	0.76	11	0.79	7	0.50	-	-
兵庫県	57	1.30	17	0.39	2	0.05	10	0.23	9	0.75	4	0.33	-	-
奈良県	9	1.00	-	-	-	-	-	-	6	1.00	2	0.33	1	0.17
和歌山県	6	0.75	5	0.63	1	0.13	-	-	16	1.45	4	0.36	1	0.09
鳥取県	10	2.00	-	-	-	-	-	-	8	1.60	-	-	-	-
島根県	7	1.17	-	-	-	-	-	-	18	2.25	10	1.25	-	-
岡山県	58	3.41	15	0.88	10	0.59	24	1.41	2	0.40	-	-	-	-
広島県	30	1.11	8	0.30	8	0.30	6	0.22	41	1.95	35	1.67	5	0.24
山口県	16	1.33	4	0.33	2	0.17	5	0.42	24	2.67	14	1.56	1	0.11
徳島県	2	0.33	-	-	1	0.17	-	-	3	0.43	-	-	-	-
香川県	18	2.00	6	0.67	4	0.44	2	0.22	8	1.60	-	-	2	0.40
愛媛県	17	1.55	3	0.27	2	0.18	1	0.09	5	0.83	1	0.17	-	-
高知県	10	1.67	-	-	-	-	-	-	20	2.50	9	1.13	-	-
福岡県	150	4.05	38	1.03	28	0.76	34	0.92	8	0.50	1	0.06	-	-
佐賀県	3	0.43	6	0.86	-	-	4	0.57	7	1.17	4	0.67	1	0.17
長崎県	15	1.50	12	1.20	3	0.30	-	-	3	0.30	-	-	-	-
熊本県	49	3.50	17	1.21	3	0.21	9	0.64	29	1.93	1	0.07	-	-
大分県	11	1.10	7	0.70	4	0.40	2	0.20	17	1.70	9	0.90	1	0.10
宮崎県	69	6.27	5	0.45	1	0.09	5	0.45	14	2.00	1	0.14	-	-
鹿児島県	23	1.44	4	0.25	6	0.38	10	0.63	7	0.58	-	-	-	-
沖縄県	64	5.33	-	-	3	0.25	5	0.42	9	1.29	1	0.14	-	-

注 )6月20日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成15年5月

	結核
	報告数
総数	2773
北海道	82
青森県	31
岩手県	17
宮城県	38
秋田県	22
山形県	14
福島県	28
茨城県	46
栃木県	27
群馬県	26
埼玉県	142
千葉県	145
東京都	351
神奈川県	163
新潟県	41
富山県	18
石川県	19
福井県	16
山梨県	8
長野県	12
岐阜県	49
静岡県	76
愛知県	166
三重県	52
滋賀県	21
京都府	73
大阪府	355
兵庫県	161
奈良県	32
和歌山県	29
鳥取県	8
島根県	14
岡山県	34
広島県	41
山口県	29
徳島県	6
香川県	21
愛媛県	29
高知県	12
福岡県	120
佐賀県	19
長崎県	44
熊本県	18
大分県	28
宮崎県	14
鹿児島県	42
沖縄県	34



## 24週のデータ

注)表中の報告数は6月19日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年24週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	7	201	-	29	-	17	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	47	-	10	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	16	-	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	1	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	1	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年24週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	58	494	7	225	-	11	-	-	1	25	-	-	3	422
北海道	-	-	-	-	1	15	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9
宮城県	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
秋田県	-	-	-	-	7	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
埼玉県	-	-	-	-	2	10	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
千葉県	-	-	-	-	5	25	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	-	-	-	1	44	1	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
神奈川県	-	-	-	-	4	11	-	23	-	-	-	-	1	3	-	-	2	20
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	2	24	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
福井県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	3	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	14	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	5	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	12	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	7	23	-	21	-	1	-	-	-	1	-	-	-	14
三重県	-	-	-	-	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	14	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	5	25	1	34	-	-	-	-	-	7	-	-	-	39
兵庫県	-	-	-	-	2	24	-	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	24
奈良県	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	2	19	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
広島県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	18
山口県	-	-	-	-	2	11	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11
徳島県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
香川県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
高知県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	-	-	-	4	16	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47
佐賀県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	4	18	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9
鹿児島県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年24週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	4	-	-	-	1	1	50	-	33	11	380	-	1	1	41	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	13	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	21	-	-	-	1	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2	4	137	-	-	1	19	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	31	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	7	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	-	3	-	1	1	37	-	-	-	-	5	-	-
兵庫県	1	1	-	-	-	-	-	2	-	2	1	13	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年24週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	12	-	1	-	-	6	113	1	14	1	8	-	-	-	-	9	216
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	3	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	1	37
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	13
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	4	28
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	3	-	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年24週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	28	1	34	-	-	-	-	-	-	-	-	35	-	2	2	51	
北海道	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	7
神奈川県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	3
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
大阪府	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
広島県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年24週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年24週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	45	0.01	1176	0.39	4879	1.60	11978	3.94	6332	2.08	4169	1.37	1006	0.33	2538	0.83	43	0.01
北海道	16	0.07	22	0.15	305	2.10	268	1.85	440	3.03	31	0.21	191	1.32	86	0.59	1	0.01
青森県	3	0.05	2	0.05	34	0.81	90	2.14	64	1.52	68	1.62	1	0.02	32	0.76	1	0.02
岩手県	-	-	1	0.03	34	0.89	68	1.79	80	2.11	32	0.84	9	0.24	20	0.53	-	-
宮城県	-	-	13	0.22	123	2.08	398	6.75	100	1.69	38	0.64	38	0.64	65	1.10	-	-
秋田県	2	0.04	8	0.23	61	1.74	113	3.23	40	1.14	6	0.17	3	0.09	19	0.54	1	0.03
山形県	-	-	15	0.50	82	2.73	183	6.10	70	2.33	57	1.90	9	0.30	39	1.30	-	-
福島県	-	-	3	0.06	62	1.29	273	5.69	93	1.94	51	1.06	21	0.44	43	0.90	-	-
茨城県	-	-	25	0.34	96	1.30	209	2.82	140	1.89	129	1.74	13	0.18	39	0.53	-	-
栃木県	-	-	3	0.07	85	1.85	136	2.96	100	2.17	34	0.74	4	0.09	34	0.74	9	0.20
群馬県	-	-	24	0.39	101	1.63	178	2.87	128	2.06	112	1.81	32	0.52	68	1.10	-	-
埼玉県	1	0.00	76	0.47	427	2.65	844	5.24	308	1.91	166	1.03	36	0.22	136	0.84	2	0.01
千葉県	-	-	70	0.54	354	2.72	510	3.92	317	2.44	84	0.65	56	0.43	130	1.00	3	0.02
東京都	1	0.01	46	0.32	148	1.04	532	3.75	176	1.24	182	1.28	31	0.22	82	0.58	-	-
神奈川県	2	0.01	71	0.34	292	1.41	762	3.68	425	2.05	107	0.52	53	0.26	195	0.94	-	-
新潟県	-	-	29	0.48	125	2.08	316	5.27	170	2.83	36	0.60	51	0.85	71	1.18	-	-
富山県	-	-	37	1.28	106	3.66	177	6.10	58	2.00	23	0.79	9	0.31	28	0.97	-	-
石川県	-	-	19	0.66	47	1.62	111	3.83	51	1.76	3	0.10	5	0.17	19	0.66	-	-
福井県	-	-	33	1.50	34	1.55	141	6.41	40	1.82	12	0.55	4	0.18	19	0.86	1	0.05
山梨県	5	0.12	-	-	45	1.80	68	2.72	16	0.64	6	0.24	9	0.36	9	0.36	-	-
長野県	-	-	4	0.07	101	1.84	296	5.38	191	3.47	20	0.36	57	1.04	45	0.82	-	-
岐阜県	-	-	15	0.28	66	1.25	91	1.72	88	1.66	101	1.91	20	0.38	27	0.51	1	0.02
静岡県	-	-	22	0.26	128	1.49	355	4.13	197	2.29	178	2.07	52	0.60	82	0.95	-	-
愛知県	1	0.01	55	0.31	367	2.07	554	3.13	406	2.29	397	2.24	50	0.28	163	0.92	3	0.02
三重県	-	-	46	1.02	88	1.96	286	6.36	74	1.64	74	1.64	31	0.69	52	1.16	-	-
滋賀県	-	-	16	0.50	40	1.25	86	2.69	69	2.16	26	0.81	6	0.19	28	0.88	-	-
京都府	-	-	6	0.08	48	0.63	398	5.24	111	1.46	71	0.93	2	0.03	45	0.59	-	-
大阪府	1	0.00	53	0.27	194	0.99	835	4.28	318	1.63	331	1.70	41	0.21	148	0.76	3	0.02
兵庫県	1	0.01	54	0.42	159	1.24	594	4.64	333	2.60	109	0.85	33	0.26	87	0.68	3	0.02
奈良県	-	-	6	0.17	23	0.66	132	3.77	58	1.66	19	0.54	4	0.11	21	0.60	-	-
和歌山県	-	-	6	0.19	24	0.77	177	5.71	60	1.94	12	0.39	5	0.16	23	0.74	2	0.06
鳥取県	-	-	5	0.26	47	2.47	133	7.00	37	1.95	13	0.68	11	0.58	23	1.21	-	-
島根県	-	-	9	0.39	6	0.26	53	2.30	35	1.52	55	2.39	1	0.04	12	0.52	-	-
岡山県	-	-	2	0.04	50	0.93	174	3.22	95	1.76	24	0.44	6	0.11	24	0.44	-	-
広島県	-	-	34	0.45	106	1.41	274	3.65	199	2.65	415	5.53	21	0.28	71	0.95	1	0.01
山口県	-	-	21	0.43	149	3.04	209	4.27	104	2.12	254	5.18	6	0.12	59	1.20	-	-
徳島県	-	-	11	0.48	30	1.30	90	3.91	51	2.22	5	0.22	1	0.04	23	1.00	1	0.04
香川県	-	-	24	0.75	33	1.03	129	4.03	37	1.16	47	1.47	1	0.03	29	0.91	-	-
愛媛県	-	-	11	0.28	35	0.90	229	5.87	75	1.92	54	1.38	1	0.03	36	0.92	-	-
高知県	1	0.02	4	0.13	30	0.97	60	1.94	56	1.81	36	1.16	8	0.26	19	0.61	3	0.10
福岡県	-	-	117	0.98	227	1.89	469	3.91	316	2.63	362	3.02	2	0.02	125	1.04	4	0.03
佐賀県	-	-	7	0.30	36	1.57	44	1.91	65	2.83	52	2.26	1	0.04	26	1.13	-	-
長崎県	-	-	13	0.30	30	0.68	93	2.11	40	0.91	44	1.00	2	0.05	17	0.39	-	-
熊本県	1	0.01	9	0.18	85	1.73	173	3.53	140	2.86	21	0.43	2	0.04	68	1.39	-	-
大分県	-	-	86	2.39	41	1.14	147	4.08	105	2.92	54	1.50	2	0.06	43	1.19	1	0.03
宮崎県	-	-	11	0.31	143	3.97	249	6.92	134	3.72	160	4.44	33	0.92	48	1.33	1	0.03
鹿児島県	6	0.06	30	0.52	25	0.43	224	3.86	66	1.14	33	0.57	2	0.03	39	0.67	-	-
沖縄県	4	0.07	2	0.06	7	0.21	47	1.38	56	1.65	25	0.74	30	0.88	21	0.62	2	0.06

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年24週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	90	0.03	3857	1.27	224	0.07	2020	0.66	21	0.03	678	1.07	-	-	4	0.01	32	0.07
北海道	5	0.03	28	0.19	5	0.03	137	0.94	1	0.03	19	0.66	-	-	-	-	-	-
青森県	4	0.10	11	0.26	2	0.05	35	0.83	-	-	7	0.64	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	13	0.34	4	0.11	42	1.11	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
宮城県	3	0.05	82	1.39	20	0.34	54	0.92	3	0.27	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	44	1.26	-	-	19	0.54	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	18	0.60	-	-	13	0.43	-	-	3	0.38	-	-	1	0.10	-	-
福島県	1	0.02	71	1.48	19	0.40	54	1.13	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	75	1.01	2	0.03	53	0.72	-	-	34	2.13	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	6	0.13	21	0.46	29	0.63	-	-	27	2.25	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	193	3.11	1	0.02	92	1.48	-	-	11	0.79	-	-	-	-	-	-
埼玉県	7	0.04	75	0.47	21	0.13	78	0.48	1	0.03	28	0.76	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	0.03	74	0.57	8	0.06	60	0.46	1	0.03	38	1.12	-	-	-	-	-	-
東京都	8	0.06	88	0.62	11	0.08	47	0.33	-	-	23	1.64	-	-	-	-	-	-
神奈川県	18	0.09	75	0.36	14	0.07	120	0.58	1	0.02	55	1.31	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	16	0.27	2	0.03	48	0.80	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	16	0.55	3	0.10	4	0.14	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	34	1.17	-	-	9	0.31	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	47	2.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67
山梨県	-	-	3	0.12	2	0.08	10	0.40	-	-	3	1.00	-	-	1	0.10	-	-
長野県	-	-	19	0.35	3	0.05	9	0.16	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	22	0.42	1	0.02	14	0.26	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	123	1.43	1	0.01	97	1.13	1	0.05	14	0.70	-	-	1	0.10	-	-
愛知県	-	-	286	1.62	1	0.01	152	0.86	1	0.03	44	1.29	-	-	1	0.08	-	-
三重県	1	0.02	97	2.16	2	0.04	31	0.69	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	73	2.28	-	-	16	0.50	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.29
京都府	-	-	56	0.74	5	0.07	27	0.36	-	-	23	1.28	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	661	3.39	11	0.06	53	0.27	2	0.04	34	0.69	-	-	-	-	2	0.13
兵庫県	2	0.02	242	1.89	8	0.06	201	1.57	2	0.06	43	1.23	-	-	-	-	2	0.17
奈良県	-	-	106	3.03	1	0.03	28	0.80	-	-	8	0.89	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	65	2.10	3	0.10	12	0.39	-	-	3	0.75	-	-	-	-	10	0.91
鳥取県	-	-	68	3.58	-	-	17	0.89	-	-	5	1.67	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	39	1.70	-	-	9	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	22	0.41	53	0.98	7	0.13	41	0.76	1	0.08	23	1.92	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	57	0.76	1	0.01	46	0.61	1	0.05	31	1.55	-	-	-	-	2	0.10
山口県	4	0.08	272	5.55	6	0.12	48	0.98	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	12	0.52	1	0.04	16	0.70	1	0.25	4	1.00	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	21	0.66	-	-	4	0.13	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	19	0.49	1	0.03	13	0.33	2	0.29	20	2.86	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	26	0.84	-	-	37	1.19	-	-	7	2.33	-	-	-	-	1	0.13
福岡県	2	0.02	175	1.46	5	0.04	68	0.57	-	-	53	2.04	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	21	0.91	1	0.04	10	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
長崎県	1	0.02	7	0.16	3	0.07	27	0.61	1	0.13	11	1.38	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	157	3.20	-	-	10	0.20	-	-	15	1.67	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	60	1.67	5	0.14	19	0.53	-	-	4	0.80	-	-	-	-	1	0.09
宮崎県	-	-	106	2.94	10	0.28	25	0.69	-	-	8	2.00	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	30	0.52	12	0.21	73	1.26	-	-	10	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	15	0.44	1	0.03	13	0.38	1	0.10	3	0.30	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年24週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	111	0.24	8	0.02	20	0.04
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	18	0.90	-	-	-	-
宮城県	6	0.50	2	0.17	3	0.25
秋田県	1	0.14	-	-	-	-
山形県	18	1.80	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	2	0.29
茨城県	4	0.40	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	-	-	4	0.44	-	-
千葉県	1	0.08	1	0.08	1	0.08
東京都	1	0.04	-	-	6	0.24
神奈川県	-	-	-	-	1	0.08
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	2	0.40	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	1	0.20
福井県	2	0.33	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	1	0.10	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	4	0.31	-	-	1	0.08
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	11	0.73	-	-	-	-
兵庫県	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	4	0.36	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	6	1.20	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	4	0.44	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	-	-	3	0.20
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	6	0.55	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	0.14

感染症週報 第5巻、第24号 平成15年6月27日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 <厚生労働省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。